

相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)

図 面 リ ス ト			
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
(意匠図)		(設備図)	
A-01	タイトル・図面リスト	E-01	特記仕様書
A-02	特記仕様書ー1	E-02	現況・改修 電灯2・3階平面詳細図
A-03	特記仕様書ー2		
A-04	特記仕様書ー3	M-01	特記仕様書ー1
A-05	配置図	M-02	特記仕様書ー2
A-06	現況1階平面図	M-03	配置図
A-07	現況2階平面図	M-04	現況1階平面図
A-08	現況3階平面図	M-05	現況2階平面図
A-09	現況断面詳細図	M-06	現況3階平面図
A-10	改修断面詳細図	M-07	現況・改修2、3階平面詳細図
A-11	部分詳細図	M-08	保温施工標準図
A-12	現況・改修2、3階平面詳細図		
A-13	現況・改修展開図		
A-14	現況・改修建具リスト、現況・改修1～3階天井伏図		

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)				P-17519		図面の名称		作成年月日		
						タイトル・図面リスト		平成29年10月		
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166				管理職兼士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良		作図 大久保 晴二		縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
								1 : 100	1 : 200	A-01

[illegible]

										工事番号・工事名 9 相連教 1 6 2 4 号 相連東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第 1 期)										P-17519 図面の名称 特記仕様書－ 1										作成年月日 平成 29 年 10 月									
株式会社 日匠設計										管理建築士 清田 耕一 機関 杉本 孝良 作図 大久保 耕二										縮尺 (A 1) 縮尺 (A 3) 図面番号																			
大阪本社 大阪府松原市阿保 1 丁目 3 番 12 号 一般建築士 198531 号 清田 耕一 TEL (072) - 331-3857 FAX (072) - 334-5931 滋賀事務所 滋賀県彦根市中町 1 丁目 9 5 一般建築士 109825 号 杉本 孝良 TEL (0748) - 72-1114 FAX (0748) - 72-1166																				1 : 1 0 0 1 : 2 0 0 A - 0 2																			

⑤ 鉄筋工事

⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	※ 異形鉄筋 (JIS G3112) ※ SD 295A ○D10 ○D13 ・D16 ・D19 ・SD 345 ・D19 ・D22 ・D25 ・D29 ・D10 ・D13 ・D16 ・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋 編目状況法 (※ 150×150 ・ 100×100) 径 (※ 6 ・ 8) (5.2.1) (5.1.1-4,7)
	2 溶接金網	直接溶接・溶接 ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 1.1) による
	① 加工および組立	基礎接合部の補強配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 1.2) による 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 1.3) による 基礎梁のあばら筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 1.4) による 柱主筋の継手、定着及び余長 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 2.1) による 帯筋組立の形及び割付け ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 2.2) による 柱の打増し補強 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 2.3) による 大梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 3.1) による あばら筋組立の形及び割付け等 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 3.2) による 梁の打増し補強 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 3.3) による 小梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 3.4) による 片持梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 3.5) による 壁の基準配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 4.1) による 壁の継手及び定着 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 4.2) による 壁の交差部及び端部の配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 4.3) による 壁の開口部補強 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 4.4) による 壁の打増し補強 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 4.5) による スラブの基準配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.1) による スラブ筋の定着及び受け筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.2) による 片持スラブの基準配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.3) による 片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.4) による スラブ開口部補強 ・ 別図による ※ 構造配筋標準図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.5) による 出隅及び入隅部の補強配筋 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.6) による スラブの打継ぎ補強配筋等 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.7) による 段差のあるスラブの補強配筋 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 5.8) による 片持スラブ形階段の基準配筋 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 6.1) による 二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 6.2) による 梁貫通孔の配筋 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 7.1) による 梁貫通孔の補強形式 ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 7.2) による コンクリートブロック壁等の取合い ・ 別図による ※ 横仕 (各部配筋参考図 7.3) による
		90°未満の折曲げの内径直径 使用箇所 : あばら筋、帯筋、スバール筋 D16以下 ※ 3d以上 D19〜25 ※ 4d以上 使用箇所 : 上記以外の鉄筋 D16以下 ※ 4d以上 (SD390の場合は5d以上) D19〜25 ※ 6d以上 D29〜38 ※ 8d以上
	④ 鉄筋の継手	○ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 (5.3.4) ○ ガス圧継手 SD345 (径 19 mm 以上) D19〜D25、SD390 D29〜D32
		主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ ・ 図示 ※ 40d (軽質コンクリートの場合は50d) と疊れ表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ・ 図示 ※ 40d (軽質コンクリートの場合は50d) と疊れ表5.3.4の重ね継手の長さのうち大きい値
	5 圧接完了後の検査	※ 超音波探傷試験による検査 ・ 引張試験による検査 (5.4.9)
	6 土間コンクリート補修	※ 入れれる ・ 入れない (建築標準T100 5.11)
	① 検査	○主梁補強部及び開口端部の鉄筋は、コンクリート打ちに先立ち係員の検査を受ける。又圧接検査は共通仕様書の規定に準い、圧接完了後に検査を行ない、検査の結果を係員に提出する。

⑥ コンクリート工事

[illegible]

7 鉄骨工事

②

打放し仕上げ

① 型 枠

① コックリト中の集約設定

② 軽量コンクリート

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ

打放し仕上げの種類

せき板の材料

※ 20 mm

・ mm

※ 種

・ 種

(6.9.2)

(6.9.3)

(6.9.3)

① 基礎及び各階傾斜打設ごと

種 別

設計基準強度 (N/mm²)

気乾単位容積質量

※ 1種

※ 2種

※ 1.8 t/m³

・ 2種

・ 施工箇所

(6.5.4), (86.10.1)

(6.11.1)

(6.1.4)

(6.11.3)

7鉄骨工事

1 鉄骨の製作所

2 施工管理技術者

3 鋼材の種類

4 高力ボルトの種類

5 アンカーボルト

6 ターンバックル

7 工作図

8 溶 接

9 溶接部の試験

10 デッキア レートの溶接

11 耐 火 被 覆

※ 構造製作認定工場の認定グレード

(S・H・M・R・J)以上で監督職員の承諾する工場

※ 監督職員の承諾する工場

※ 適用する

※ 適用しない

材 質

・ SS400

・ SSC400

・ STK400

・ SM490

・ SN400

・ SN490B

規 格

※ JIS規格

・ 7.2.10 (a) の試験に合格するもの

種 類

※ トルシア形高力ボルト (建築基準法認定品)

・ JIS S形高力ボルト

構造用アンカーボルト

材 質

※ SNR400

・

建方用アンカーボルト

材 質

※ S400

・

アンカーボルト及びびネットのねじの種類、規格、ねじの等級、規格および仕上げの程度

※ ねじによる

鋼 の 種 類

※ 割断式

・ バイブ式

ボルトの種類

※ 羽子板ボルト

・ 両ねじボルト

・ アイボルト

※ CAD加工

※ 床置き現寸図

開先の形状

※ 図示

※ エンドタブを切除する部分

スラップの形状

※ 図示

・ 超音波探傷試験 (検査は第三者検査会社によるものと監督職員の承諾を受ける)

AOQL ※ 4.0 %

・ 2.5 %

検査水準 ※ 第6水準

・ 第()水準

・ 図示による

(1フレーム当たり8ヶ所行う)

※ アースボット溶接

・ 隅内溶接

合成スラブとして使用するデッキア レートの場合

※ 焼き抜き溶接

・

(7.9.2)

種 別

材料及び工法

材料及び工法

・ 耐 火 材 収 付 け

ロックワール

・ 乾式

・ 湿式

建築基準法の指定又は認定を受けたもの

・ 耐火板張り

・ 華鉛鋼板カシメ工法

建築基準法の指定又は認定を受けたもの

・ 耐火材巻き付け

・

建築基準法の指定又は認定を受けたもの

・ ラス張りモルタル塗り

標仕15章2節による

所定の耐火性能を有するもの

・

12 アンカーボルト等の設置

13 柱底均しモルタル

14 検査結果の報告

15 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合

16 立体トラス

種 別

・ A 種

※ B 種

・ C 種

工 法

※ A 種

・ B 種

・ C 種

工場加工品、認定工場における自主検査または資質管理機構工業組合の一般検査を受け報告書を出すすること。

摩擦面の処理

※ プラスト処理

・ りん酸塩処理

・ 図示 TMトラス

製造所：大隅工業 又は同等品以上

(87.10.1)

(87.10.2)

(7.12.4)

8コンクリートブロック・ALCセメントパネル工事

1 空芯コンクリートブロックの種類

2 各部の筋筋

3 ALCパネル

4 押出成形セメント板

種 別

・ A種 (OB)

・ B種 (12)

※ C種 (16)

・ C種防水 (16W)

厚さ (mm)

・ 100

・ 120

・ 150

耐 力 壁

※ 構造図による

根 礎

※ 構造図による

種 類

厚さ (mm)

・ 50

・ 100

間仕切用

・ 50

・ 100

根 用

・ 50

・ 100

床

・ 100

・ 150

耐火性能

・ 1時間耐火

・ 外壁パネル工法

種 別

・ A種

・ B種

・ C種

・ メーカー仕様

出隅・入隅地盤 (mm) ※ 20

・ 間仕切壁パネル工法

種 別

・ B種

・ C種

・ D種

・ E種

種 別

※ ノンアスベスト品 (JIS A 5441 規格品)

・ 塗装品

・ 無塗装品

厚さ (mm) :

・ 外壁パネル工法

・ A種

・ B種

・ 間仕切壁パネル工法

・ B種

・ C種

パネル製造所 ;

(8.2.2)

(8.2.5)

(8.3.3)

(8.4.2)

(8.4.3)

(8.4.4)

(8.5.2)

(8.5.3)

(8.5.4)

9防水工事

① アスファルト防水

2 改質アスファルトシート防水

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.2.2), (9.2.3), (89.2.3-8), (89.2.3-10)

防水層の種類

種 別

施 工 箇 所

・ 屋根保護防水密着工法

・ A-1

・ A-2

・ 屋根保護防水密着新熱工法

・ AI-1

・ AI-2

・ 屋根保護防水絶縁工法

・ B-1

・ B-2

・ 屋根保護防水絶縁新熱工法

・ BI-1

・ BI-2

・ 屋根露出防水密着工法

・ C-1

・ C-2

・ 屋根露出防水絶縁工法

・ D-1

・ D-2

・ 屋根露出防水新熱工法

・ DI-1

・ DI-2

○ 屋内防水密着工法

・ E-1

○ E-2

床

屋根露出防水の仕上塗装塗り

※ 行う (・ シルバー

・ カラー

・ 行わない

アスファルト

※ 3 種

アスファルトルーフティング

・ 940

※ 1500

断熱工法の断熱材

厚さ (mm)

※ 25

材質

※ 押出加工ポリスチレンフォーム3種ヒスクリン層付き

端部押え金物

アルミ製

※ L-30×15×2.0

・ L-40×10×2.0

立上り部の保護

・ 押出成形セメント板t=15

・ 乾式保護材

・ コンクリート押え

(8.4.3)

(8.4.4)

(8.5.2)

(8.5.3)

(8.5.4)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2.2)

(9.2

⑨ 防水工事

4

塗装防水

※ 露出防水

(9.5.2)、(9.5.1)

種 別

施工箇所

・ X-1 ・ X-2

バラベツト天端、ホール小庇

・ Y-1 ・ Y-2

Y-2の保護層

※ 取ける ・ 取けない

5 施工票

⑥ 責任施工及び保証期間

工事完了後に監督職員の指示する場所に取り付ける。
防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。
○ アスファルト防水 10年間
・ 改質アスファルトシート防水 10年間
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水 10年間
・ 塗膜防水 10年間
・ FRP防水 10年間

⑦ シーリング

材 料

※ 傷仕による

(9.6.2)

種 別 (記 号)

施工箇所

図示

コンクリート打継部分・内部タイル部分・面台取合い部分

接着性試験

・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

○ 行わない

(9.6.5)

図中 印箇所に施工 ただし 印なき箇所も必要と思われる所は施工すること。

8 脱気装置

材 質：

設置数量：

9 止水材

1 石材

(表10.2.1)、(表10.2.2)

施 工 箇 所

石材の種類・品質

産地・名称

仕上の種類

品 質

床 用 ・ 1等 ※ 2等

その他 ※ 1等 ・ 2等

(10.2.1)

2 テラゾブロック

種石の種類・大きさ ※ 大理石の種類 (12mm以下) ・ 花こう岩の類 (6mm以下) (10.2.1)

磨き仕上げの種類 ※ 本磨き ・ 水磨き ・ 粗磨き

屋内の床を本磨き仕上げとする場合のワックスがけ ※ 行う ・ 行わない

3 テラゾタイル

種 類

・ 花こう岩類

・ 大理石

(10.2.1)

形状・寸法

・ 300×300

・ 400×400

磨き仕上げの種類 ※ 本磨き ・ 水磨き ・ 粗磨き

屋内の床を本磨き仕上げとする場合のワックスがけ ※ 行う ・ 行わない

① 材料

施 工 箇 所

形状・寸法

耐腐害性

塗 薬

役 物

品質及び品番等

男子便所 床 (汚垂れ床)

897x598 厚13.0

有

有

無

キラミックスタップ

試験張り

・ 行う

※行わない

(11.2.1)、(11.2.2)

見本焼き

・ 行う

※行わない

② 工法

外装タイル ※ 密着張り ・ (表11.3.2)

内装タイル ※ 改良種上げ張り ○ 接着剤張り

③ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

※ 入れる ・ 入れない

(表11.1.1)

4 接着力試験

位 置

※ 傷仕による ・ 立面図による

⑤ タイル製造所

行なう ・ 行なわない

(11.1.4)

○ LIXIL、TOTO、ダントー、ニッタイ又は同等品以上

① 木材の使用について

間伐材を金め力府内産を使用すること。

② 木材の断面寸法

表示寸法で板材、造作材は仕上がり寸法、構造材はひき立て寸法とする。

③ 表面仕上げ

・ A種 ※ B種 ・ C種 (12.1.4)、(表12.1.1)

④ 木材

木材の含水率 ※ A種 ・ B種 (表12.2.1)

造作材の品質 ※ A種 ・ B種 (表12.2.2)

樹 種 ※ 樹仕表12.2.2.3による。

(12.2.1)

・ 代用樹種を適用しない箇所

構造材 ()

造作材 ()

5 集成材

・ 構造用集成材 (12.2.2)

樹 種 強度等級 材面の品質 接着性能 厚さ (mm) 施 工 箇 所

※ 2種 ・

※ 2種 ・

・ 構造用単板積層材

樹 種 接着性能 曲げ性能 厚さ (mm) 施 工 箇 所

・ 造作用集成材

樹 種 見付け材面の品質 厚さ (mm) 施 工 箇 所

米松

※ 1等 ・

25

巾木

※ 1等 ・

・ 化粧仕上げ造作用集成材

心材の樹種 化粧薄板の樹種 化粧薄板厚 見付け材面の品質 厚さ (mm) 施 工 箇 所

※ 1等 ・

※ 1等 ・

・ 造作用単板積層集成材

表面の品質 防虫処理 厚さ (mm) 施 工 箇 所

※ 天然化粧加工 ・

※ 天然化粧加工 ・

6 床張り用合板

・ 合板 厚さ (mm) ・ 12 ・ 15 接着の程度 ※ 1類 表面の品質 ※ 2等 (12.2.3)

板種および施工箇所： アリーナ、剣道場、柔道場

・ パーティクルボード 厚さ (mm) ※ 15 ・ 接着の程度 ※ 13Pタイプ まひは13Mタイプ ・

板種および施工箇所：

7 防蟻処理

木材保存剤は、人体への安全性および環境への影響に配慮した表面処理用木材保存剤とする。

(12.2.8)

種類および品質：

8 防蟻処理

※ 行う 適用範囲： 内容：

(12.2.9)

⑫
木
工
事

5	集成材	・ 構造用集成材					(12.2.2)	
		樹 種	強度等級	材面の品質	接着性能	厚さ (mm)	施 工 箇 所	
				※ 2 種 ・				
				※ 2 種 ・				
		・ 構造用単板積層材						
		樹 種	接着性能	曲げ性能	厚さ (mm)	施 工 箇 所		
		・ 造作用集成材						
		樹 種	見付け材面の品質	厚さ (mm)	施 工 箇 所			
		米松	※ 1 等 ・	25	巾木			
			※ 1 等 ・					
		・ 化粧び造作用集成材						
		心材の乾燥	化粧薄板の乾燥	化粧薄板	見付け材面の品質	厚さ (mm)	施 工 箇 所	
					※ 1 等 ・			
			※ 1 等 ・					
6	床張り用集成材	・ 造作用単板積層集成材						
		表面の品質		防虫処理	厚さ (mm)	施 工 箇 所		
		※ 天然化粧加工 ・						
		※ 天然化粧加工 ・						
		・ 合板 厚さ (mm) ・ 12 ・ 15 接着の程度 ※ 1 類 表面の品質 ※ 2 等 (12.2.3)						
		板種および施工箇所： アリーナ、剣道場、柔道場						
		・ パーティクルボード 厚さ (mm) ※ 15 ・ 接着剤用系 ※ 13Pタイプ または 13Mタイプ ・						
		板種および施工箇所：						
		7	防蟻処理	木材保存剤は、人体への安全性および環境への影響に配慮した表面処理用木材保存剤とする。 (12.2.8)				
				種類および品質：				
		8	防蟻処理	※ 行う 適用範囲：		内容：		(12.2.9)

13 屋根及びとい工事

13
屋根及び
とい工事

1長尺金属板葺

屋根葺形式
材 種

・ 横葺 ・ 瓦葺葺 ・ 平葺 ・ 立ちハズ葺き (13.2.2)
・ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板および鋼帯 (表13.2.1)
・ 溶融アルミニウムめっき鋼板および鋼帯
・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金メッキ鋼板および鋼帯
・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板および鋼帯 (カラー)
・ ポリ塩化ビニル被覆金属板
・ 冷間圧延ステンレス鋼板および鋼帯
・ 塗装ステンレス鋼板

厚 さ
下 葺

一般部 ※ 0.4mm ・ 谷部 ※ 0.4mm ・ (13.2.2)
※ アスファルトルーフィング940 ・

2折板葺

形 式
材 種
種 類

・ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ (13.3.2)
・ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板 ・
山 高 (mm) 山ピッチ (mm) 耐 力 (N/㎡)
板、厚 0.6mm ・ 0.8mm 軒先面戸板 ※ あり ・ なし
けらはきみ ※ あり (厚さ (mm) 幅 (mm)) ・ なし
30分耐久 ※ あり ・ なし
断熱材 ※ あり (種別: 厚さ: mm 防火性能:) ・ なし

3粘土瓦葺

種 類:
木の宙付け工法:
様の工法:

寸 法:
産 地: ※ 県内産 ・ (13.4.2)

4工 法

建築基準法に基づき定められた区分
基準風速 $V_{00} = (34) \text{ m/s}$ 垂直積雪量 (30) cm
※上記により定まる風圧力及び積雪加重に対応した工法とすること。

5雪止め金物

・

10 年間

6責任施工および
保証期間

・

年間

7とい

材 種

※ 硬質塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (屋内防露処理) (13.5.2), (表13.5.1)
・ ステンレス管 (既製品) ・
掃 除 口 ・ 設ける ・ 設けない
防 露 材 ※ 構仕表13.5.4による ・ 施工場所: 勾配屋根
銅管製といの防露 ・ 構仕表13.5.5による
・ フロアドレン 銅鉄製タールエゴキシ塗 (・ 2種 ・ 3種) 施工場所: 玄関庇
・ ルーフドレン 銅鉄製タールエゴキシ塗 (・ 2種 ・ 3種) 施工場所: 玄関庇
・ ルーフドレン 改修ドレン使用
・ 横引ドレン 改修ドレン使用 施工場所: 陸屋根

14
金属
工事

①ステンレスの種類

種類
表面仕上げ

※ SUS 304 (床見切) (14.2.1)
※ HL仕上げ ・ No. 2B ・ 鏡面仕上げ (14.2.2), (表14.2.1)

種 別
・ B-1種
・ B-2種
・ D 種

表 面 処 理
無着色
電解着色 (色)

施 工 箇 所

2アルミニウム及び
アルミニウム合金
の表面処理

3鉄鋼の亜鉛メッキ

表 面 処 理

種 別

施 工 箇 所

溶融亜鉛メッキ

・ A種 ・ B種 ・ C種

消火栓ポンプ室前階段

電気亜鉛メッキ

・ D種 ・ E種 ・ F種

④ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋内 ※ 19型 ・ 25型 屋外 ・ 19型 ※ 25型 (前掲仕様) (表14.4.1)
※ B-1種 無着色 ※ 150以内 ・ (14.4.3)
※ B-2種 電解着色 (色) ・
※ B-3種
※ B-4種
※ B-5種
※ B-6種
※ B-7種
※ B-8種
※ B-9種
※ B-10種
※ B-11種
※ B-12種
※ B-13種
※ B-14種
※ B-15種
※ B-16種
※ B-17種
※ B-18種
※ B-19種
※ B-20種
※ B-21種
※ B-22種
※ B-23種
※ B-24種
※ B-25種
※ B-26種
※ B-27種
※ B-28種
※ B-29種
※ B-30種
※ B-31種
※ B-32種
※ B-33種
※ B-34種
※ B-35種
※ B-36種
※ B-37種
※ B-38種
※ B-39種
※ B-40種
※ B-41種
※ B-42種
※ B-43種
※ B-44種
※ B-45種
※ B-46種
※ B-47種
※ B-48種
※ B-49種
※ B-50種
※ B-51種
※ B-52種
※ B-53種
※ B-54種
※ B-55種
※ B-56種
※ B-57種
※ B-58種
※ B-59種
※ B-60種
※ B-61種
※ B-62種
※ B-63種
※ B-64種
※ B-65種
※ B-66種
※ B-67種
※ B-68種
※ B-69種
※ B-70種
※ B-71種
※ B-72種
※ B-73種
※ B-74種
※ B-75種
※ B-76種
※ B-77種
※ B-78種
※ B-79種
※ B-80種
※ B-81種
※ B-82種
※ B-83種
※ B-84種
※ B-85種
※ B-86種
※ B-87種
※ B-88種
※ B-89種
※ B-90種
※ B-91種
※ B-92種
※ B-93種
※ B-94種
※ B-95種
※ B-96種
※ B-97種
※ B-98種
※ B-99種
※ B-100種
※ B-101種
※ B-102種
※ B-103種
※ B-104種
※ B-105種
※ B-106種
※ B-107種
※ B-108種
※ B-109種
※ B-110種
※ B-111種
※ B-112種
※ B-113種
※ B-114種
※ B-115種
※ B-116種
※ B-117種
※ B-118種
※ B-119種
※ B-120種
※ B-121種
※ B-122種
※ B-123種
※ B-124種
※ B-125種
※ B-126種
※ B-127種
※ B-128種
※ B-129種
※ B-130種
※ B-131種
※ B-132種
※ B-133種
※ B-134種
※ B-135種
※ B-136種
※ B-137種
※ B-138種
※ B-139種
※ B-140種
※ B-141種
※ B-142種
※ B-143種
※ B-144種
※ B-145種
※ B-146種
※ B-147種
※ B-148種
※ B-149種
※ B-150種
※ B-151種
※ B-152種
※ B-153種
※ B-154種
※ B-155種
※ B-156種
※ B-157種
※ B-158種
※ B-159種
※ B-160種
※ B-161種
※ B-162種
※ B-163種
※ B-164種
※ B-165種
※ B-166種
※ B-167種
※ B-168種
※ B-169種
※ B-170種
※ B-171種
※ B-172種
※ B-173種
※ B-174種
※ B-175種
※ B-176種
※ B-177種
※ B-178種
※ B-179種
※ B-180種
※ B-181種
※ B-182種
※ B-183種
※ B-184種
※ B-185種
※ B-186種
※ B-187種
※ B-188種
※ B-189種
※ B-190種
※ B-191種
※ B-192種
※ B-193種
※ B-194種
※ B-195種
※ B-196種
※ B-197種
※ B-198種
※ B-199種
※ B-200種
※ B-201種
※ B-202種
※ B-203種
※ B-204種
※ B-205種
※ B-206種
※ B-207種
※ B-208種
※ B-209種
※ B-210種
※ B-211種
※ B-212種
※ B-213種
※ B-214種
※ B-215種
※ B-216種
※ B-217種
※ B-218種
※ B-219種
※ B-220種
※ B-221種
※ B-222種
※ B-223種
※ B-224種
※ B-225種
※ B-226種
※ B-227種
※ B-228種
※ B-229種
※ B-230種
※ B-231種
※ B-232種
※ B-233種
※ B-234種
※ B-235種
※ B-236種
※ B-237種
※ B-238種
※ B-239種
※ B-240種
※ B-241種
※ B-242種
※ B-243種
※ B-244種
※ B-245種
※ B-246種
※ B-247種
※ B-248種
※ B-249種
※ B-250種
※ B-251種
※ B-252種
※ B-253種
※ B-254種
※ B-255種
※ B-256種
※ B-257種
※ B-258種
※ B-259種
※ B-260種
※ B-261種
※ B-262種
※ B-263種
※ B-264種
※ B-265種
※ B-266種
※ B-267種
※ B-268種
※ B-269種
※ B-270種
※ B-271種
※ B-272種
※ B-273種
※ B-274種
※ B-275種
※ B-276種
※ B-277種
※ B-278種
※ B-279種
※ B-280種
※ B-281種
※ B-282種
※ B-283種
※ B-284種
※ B-285種
※ B-286種
※ B-287種
※ B-288種
※ B-289種
※ B-290種
※ B-291種
※ B-292種
※ B-293種
※ B-294種
※ B-295種
※ B-296種
※ B-297種
※ B-298種
※ B-299種
※ B-300種
※ B-301種
※ B-302種
※ B-303種
※ B-304種
※ B-305種
※ B-306種
※ B-307種
※ B-308種
※ B-309種
※ B-310種
※ B-311種
※ B-312種
※ B-313種
※ B-314種
※ B-315種
※ B-316種
※ B-317種
※ B-318種
※ B-319種
※ B-320種
※ B-321種
※ B-322種
※ B-323種
※ B-324種
※ B-325種
※ B-326種
※ B-327種
※ B-328種
※ B-329種
※ B-330種
※ B-331種
※ B-332種
※ B-333種
※ B-334種
※ B-335種
※ B-336種
※ B-337種
※ B-338種
※ B-339種
※ B-340種
※ B-341種
※ B-342種
※ B-343種
※ B-344種
※ B-345種
※ B-346種
※ B-347種
※ B-348種
※ B-349種
※ B-350種
※ B-351種
※ B-352種
※ B-353種
※ B-354種
※ B-355種
※ B-356種
※ B-357種
※ B-358種
※ B-359種
※ B-360種
※ B-361種
※ B-362種
※ B-363種
※ B-364種
※ B-365種
※ B-366種
※ B-367種
※ B-368種
※ B-369種
※ B-370種
※ B-371種
※ B-372種
※ B-373種
※ B-374種
※ B-375種
※ B-376種
※ B-377種
※ B-378種
※ B-379種
※ B-380種
※ B-381種
※ B-382種
※ B-383種
※ B-384種
※ B-385種
※ B-386種
※ B-387種
※ B-388種
※ B-389種
※ B-390種
※ B-391種
※ B-392種
※ B-393種
※ B-394種
※ B-395種
※ B-396種
※ B-397種
※ B-398種
※ B-399種
※ B-400種
※ B-401種
※ B-402種
※ B-403種
※ B-404種
※ B-405種
※ B-406種
※ B-407種
※ B-408種
※ B-409種
※ B-410種
※ B-411種
※ B-412種
※ B-413種
※ B-414種
※ B-415種
※ B-416種
※ B-417種
※ B-418種
※ B-419種
※ B-420種
※ B-421種
※ B-422種
※ B-423種
※ B-424種
※ B-425種
※ B-426種
※ B-427種
※ B-428種
※ B-429種
※ B-430種
※ B-431種
※ B-432種
※ B-433種
※ B-434種
※ B-435種
※ B-436種
※ B-437種
※ B-438種
※ B-439種
※ B-440種
※ B-441種
※ B-442種
※ B-443種
※ B-444種
※ B-445種
※ B-446種
※ B-447種
※ B-448種
※ B-449種
※ B-450種
※ B-451種
※ B-452種
※ B-453種
※ B-454種
※ B-455種
※ B-456種
※ B-457種
※ B-458種
※ B-459種
※ B-460種
※ B-461種
※ B-462種
※ B-463種
※ B-464種
※ B-465種
※ B-466種
※ B-467種
※ B-468種
※ B-469種
※ B-470種
※ B-471種
※ B-472種
※ B-473種
※ B-474種
※ B-475種
※ B-476種
※ B-477種
※ B-478種
※ B-479種
※ B-480種
※ B-481種
※ B-482種
※ B-483種
※ B-484種
※ B-485種
※ B-486種
※ B-487種
※ B-488種
※ B-489種
※ B-490種
※ B-491種
※ B-492種
※ B-493種
※ B-494種
※ B-495種
※ B-496種
※ B-497種
※ B-498種
※ B-499種
※ B-500種
※ B-501種
※ B-502種
※ B-503種
※ B-504種
※ B-505種
※ B-506種
※ B-507種
※ B-508種
※ B-509種
※ B-510種
※ B-511種
※ B-512種
※ B-513種
※ B-514種
※ B-515種
※ B-516種
※ B-517種
※ B-518種
※ B-519種
※ B-520種
※ B-521種
※ B-522種
※ B-523種
※ B-524種
※ B-525種
※ B-526種
※ B-527種
※ B-528種
※ B-529種
※ B-530種
※ B-531種
※ B-532種
※ B-533種
※ B-534種
※ B-535種
※ B-536種
※ B-537種
※ B-538種
※ B-539種
※ B-540種
※ B-541種
※ B-542種
※ B-543種
※ B-544種
※ B-545種
※ B-546種
※ B-547種
※ B-548種
※ B-549種
※ B-550種
※ B-551種
※ B-552種
※ B-553種
※ B-554種
※ B-555種
※ B-556種
※ B-557種
※ B-558種
※ B-559種
※ B-560種
※ B-561種
※ B-562種
※ B-563種
※ B-564種
※ B-565種
※ B-566種
※ B-567種
※ B-568種
※ B-569種
※ B-570種
※ B-571種
※ B-572種
※ B-573種
※ B-574種
※ B-575種
※ B-576種
※ B-577種
※ B-578種
※ B-579種
※ B-580種
※ B-581種
※ B-582種
※ B-583種
※ B-584種
※ B-585種
※ B-586種
※ B-587種
※ B-588種
※ B-589種
※ B-590種
※ B-591種
※ B-592種
※ B-593種
※ B-594種
※ B-595種
※ B-596種
※ B-597種
※ B-598種
※ B-599種
※ B-600種
※ B-601種
※ B-602種
※ B-603種
※ B-604種
※ B-605種
※ B-606種
※ B-607種
※ B-608種
※ B-609種
※ B-610種
※ B-611種
※ B-612種
※ B-613種
※ B-614種
※ B-615種
※ B-616種
※ B-617種
※ B-618種
※ B-619種
※ B-620種
※ B-621種
※ B-622種
※ B-623種
※ B-624種
※ B-625種
※ B-626種
※ B-627種
※ B-628種
※ B-629種
※ B-630種
※ B-631種
※ B-632種
※ B-633種
※ B-634種
※ B-635種
※ B-636種
※ B-637種
※ B-638種
※ B-639種
※ B-640種
※ B-641種
※ B-642種
※ B-643種
※ B-644種
※ B-645種
※ B-646種
※ B-647種
※ B-648種
※ B-649種
※ B-650種
※ B-651種
※ B-652種
※ B-653種
※ B-654種
※ B-655種
※ B-656種
※ B-657種
※ B-658種
※ B-659種
※ B-660種
※ B-661種
※ B-662種
※ B-663種
※ B-664種
※ B-665種
※ B-666種
※ B-667種
※ B-668種
※ B-669種
※ B-670種
※ B-671種
※ B-672種
※ B-673種
※ B-674種
※ B-675種
※ B-676種
※ B-677種
※ B-678種
※ B-679種
※ B-680種
※ B-681種
※ B-682種
※ B-683種
※ B-684種
※ B-685種
※ B-686種
※ B-687種
※ B-688種
※ B-689種
※ B-690種
※ B-691種
※ B-692種
※ B-693種
※ B-694種
※ B-695種
※ B-696種
※ B-697種
※ B-698種
※ B-699種
※ B-700種
※ B-701種
※ B-702種
※ B-703種
※ B-704種
※ B-705種
※ B-706種
※ B-707種
※ B-708種
※ B-709種
※ B-710種
※ B-711種
※ B-712種
※ B-713種
※ B-714種
※ B-715種
※ B-716種
※ B-717種
※ B-718種
※ B-719種
※ B-720種
※ B-721種
※ B-722種
※ B-723種
※ B-724種
※ B-725種
※ B-726種
※ B-727種
※ B-728種
※ B-729種
※ B-730種
※ B-731種
※ B-732種
※ B-733種
※ B-734種
※ B-735種
※ B-736種
※ B-737種
※ B-738種
※ B-739種
※ B-740種
※ B-741種
※ B-742種
※ B-743種
※ B-744種
※ B-745種
※ B-746種
※ B-747種
※ B-748種
※ B-749種
※ B-750種
※ B-751種
※ B-752種
※ B-753種
※ B-754種
※ B-755種
※ B-756種
※ B-757種
※ B-758種
※ B-759種
※ B-760種
※ B-761種
※ B-762種
※ B-763種
※ B-764種
※ B-765種
※ B-766種
※ B-767種
※ B-768種
※ B-769種
※ B-770種
※ B-771種
※ B-772種
※ B-773種
※ B-774種
※ B-775種
※ B-776種
※ B-777種
※ B-778種
※ B-779種
※ B-780種
※ B-781種
※ B-782種
※ B-783種
※ B-784種
※ B-785種
※ B-786種
※ B-787種
※ B-788種
※ B-789種
※ B-790種
※ B-791種
※ B-792種
※ B-793種
※ B-794種
※ B-795種
※ B-796種
※ B-797種
※ B-798種
※ B-799種
※ B-800種
※ B-801種
※ B-802種
※ B-803種
※ B-804種
※ B-805種
※ B-806種
※ B-807種
※ B-808種
※ B-809種
※ B-810種
※ B-811種
※ B-812種
※ B-813種
※ B-814種
※ B-815種
※ B-816種
※ B-817種
※ B-818種
※ B-819種
※ B-820種
※ B-821種
※ B-822種
※ B-823種
※ B-824種
※ B-825種
※ B-826種
※ B-827種
※ B-828種
※ B-829種
※ B-830種
※ B-831種
※ B-832種
※ B-833種
※ B-834種
※ B-835種
※ B-836種
※ B-837種
※ B-838種
※ B-839種
※ B-840種
※ B-841種
※ B-842種
※ B-843種
※ B-844種
※ B-845種
※ B-846種
※ B-847種
※ B-848種
※ B-849種
※ B-850種
※ B-851種
※ B-852種
※ B-853種
※ B-854種
※ B-855種
※ B-856種
※ B-857種
※ B-858種
※ B-859種
※ B-860種
※ B-861種
※ B-862種
※ B-863種
※ B-864種
※ B-865種
※ B-866種
※ B-867種
※ B-868種
※ B-869種
※ B-870種
※ B-871種
※ B-872種
※ B-873種
※ B-874種
※ B-875種
※ B-876種
※ B-877種
※ B-878種
※ B-879種
※ B-880種
※ B-881種
※ B-882種
※ B-883種
※ B-884種
※ B-885種
※ B-886種
※ B-887種
※ B-888種
※ B-889種
※ B-890種
※ B-891種
※ B-892種
※ B-893種
※ B-894種
※ B-895種
※ B-896種
※ B-897種
※ B-898種
※ B-899種
※ B-900種
※ B-901種
※ B-902種
※ B-903種
※ B-904種
※ B-905種
※ B-906種
※ B-907種
※ B-908種
※ B-909種
※ B-910種
※ B-911種
※ B-912種
※ B-913種
※ B-914種
※ B-915種
※ B-916種
※ B-917種
※ B-918種
※ B-919種
※ B-920種
※ B-921種
※ B-922種
※ B-923種
※ B-924種
※ B-925種
※ B-926種
※ B-927種
※ B-928種
※ B-929種
※ B-930種
※ B-931種
※ B-932種
※ B-933種
※ B-934種
※ B-935種
※ B-936種
※ B-937種
※ B-938種
※ B-939種
※ B-940種
※ B-941種
※ B-942種
※ B-943種
※ B-944種
※ B-945種
※ B-946種
※ B-947種
※ B-948種
※ B-949種
※ B-950種
※ B-951種
※ B-952種
※ B-953種
※ B-954種
※ B-955種
※ B-956種
※ B-957種
※ B-958種
※ B-959種
※ B-960種
※ B-961種
※ B-962種
※ B-963種
※ B-964種
※ B-965種
※ B-966種
※ B-967種
※ B-968種
※ B-969種
※ B-970種
※ B-971種
※ B-972種
※ B-973種
※ B-974種
※ B-975種
※ B-976種
※ B-977種
※ B-978種
※ B-979種
※ B-980種
※ B-981種
※ B-982種
※ B-983種
※ B-984種
※ B-985種
※ B-986種
※ B-987種
※ B-988種
※ B-989種
※ B-990種
※ B-991種
※ B-992種
※ B-993種
※ B-994種
※ B-995種
※ B-996種
※ B-997種
※ B-998種
※ B-999種
※ B-1000種
※ B-1001種
※ B-1002種
※ B-1003種
※ B-1004種
※ B-1005種
※ B-1006種
※ B-1007種
※ B-1008種
※ B-1009種
※ B-1010種
※ B-1011種
※ B-1012種
※ B-1013種
※ B-1014種
※ B-1015種
※ B-1016種
※ B-1017種
※ B-1018種
※ B-1019種
※ B-1020種
※ B-1021種
※ B-1022種
※ B-1023種
※ B-1024種
※ B-1025種
※ B-1026種
※ B-1027種
※ B-1028種
※ B-1029種
※ B-1030種
※ B-1031種
※ B-1032種
※ B-1033種
※ B-1034種
※ B-1035種
※ B-1036種
※ B-1037種
※ B-1038種
※ B-1039種
※ B-1040種
※ B-1041種
※ B-1042種
※ B-1043種
※ B-1044種
※ B-1045種
※ B-1046種
※ B-1047種
※ B-1048種
※ B-1049種
※ B-1050種
※ B-1051種
※ B-1052種
※ B-1053種
※ B-1054種
※ B-1055種
※ B-1056種
※ B-1057種
※ B-1058種
※ B-1059種
※ B-1060種
※ B-1061種
※ B-1062種
※ B-1063種
※ B-1064種
※ B-1065種
※ B-1066種
※ B-1067種
※ B-1068種
※ B-1069種
※ B-1070種
※ B-1071種
※ B-1072種
※ B-1073種
※ B-1074種
※ B-1075種
※ B-1076種
※ B-1077種
※ B-1078種
※ B-1079種
※ B-1080種
※ B-1081種
※ B-1082種
※ B-1083種
※ B-1084種
※ B-1085種
※ B-1086種
※ B-1087種
※ B-1088種
※ B-1089種
※ B-1090種
※ B-1091種
※ B-1092種
※ B-1093種
※ B-1094種
※ B-1095種
※ B-1096種
※ B-1097種
※ B-1098種
※ B-1099種
※ B-1100種
※ B-1101種
※ B-1102種
※ B-1103種
※ B-1104種
※ B-1105種
※ B-1106種
※ B-1107種
※ B-1108種
※ B-1109種
※ B-1110種
※ B-1111種
※ B-1112種
※ B-1113種
※ B-1114種
※ B-1115種
※ B-1116種
※ B-1117種
※ B-1118種
※ B-1119種
※ B-1120種
※ B-1121種
※ B-1122種
※ B-1123種
※ B-1124種
※ B-1125種
※ B-1126種
※ B-1127種
※ B-1128種
※ B-1129種
※ B-1130種
※ B-1131種
※ B-1132種
※ B-1133種
※ B-1134種
※ B-1135種
※ B-1136種
※ B-1137種
※ B-1138種
※ B-1139種
※ B-1140種
※ B-1141種
※ B-1142種
※ B-1143種
※ B-1144種
※ B-1145種
※ B-1146種
※ B-1147種
※ B-1148種
※ B-1149種
※ B-1150種
※ B-1151種
※ B-1152種
※ B-1153種
※ B-1154種
※ B-1155種
※ B-1156種
※ B-1157種
※ B-1158種
※ B-1159種
※ B-1160種
※ B-1161種
※ B-1162種
※ B-1163種
※ B-1164種
※ B-1165種
※ B-1166種
※ B-1167種
※ B-1168種
※ B-1169種
※ B-1170種
※ B-1171種
※ B-1172種
※ B-1173種
※ B-1174種
※ B-1175種
※ B-1176種
※ B-1177種
※ B-1178種
※ B-1179種
※ B-1180種
※ B-1181種
※ B-1182種
※ B-1183種
※ B-1184種
※ B-1185種
※ B-1186種
※ B-1187種
※ B-1188種
※ B-1189種
※ B-1190種
※ B-1191種
※ B-1192種
※ B-1193種
※ B-1194種
※ B-1195種
※ B-1196種
※ B-1197種
※ B-1198種
※ B-1199種
※ B-1200種
※ B-1201種
※ B-1202種
※ B-1203種
※ B-1204種
※ B-1205種
※ B-1206種
※ B-1207種
※ B-1208種
※ B-1209種
※ B-1210種
※ B-1211種
※ B-1212種
※ B-1213種
※ B-1214種
※ B-1215種
※ B-1216種
※ B-1217種
※ B-1218種
※ B-1219種
※ B-1220種
※ B-1221種
※ B-1

14 金属工事

		冷熱並給メッキ 電気並給メッキ	・ A 種 ・ D 種	※ B 種 ・ E 種	・ C 種 ・ F 種	消火栓ホック至前階段															
④	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内 ※ 19 型 ・ 25 型 屋外 ・ 19 型 ※ 25 型 (耐風仕様) (耐14.4.1) 外部野縁受、吊りボルト、インサートの、端部からの設置位置 ※ 150 以内 ・ (14.4.3) 外部野縁の間隔 ※ 横仕表14.4.4.2による。 ・ (14.4.4) 天井のふところが高3mを超える場合の補強:																			
⑤	軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ・ 50 型 ◎ 65 型 ・ 90 型 ・ 100 型 (耐14.5.1)																			
6	金属成型板張り	<table><tr><th>形 状</th><th>材 種</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>表 面 処 理</th></tr><tr><td>・ スパンドレル形</td><td>・ アルミニウム</td><td></td><td></td><td>※ B-1 種 ・ B-2 種 (色:)</td></tr><tr><td>・ パネル形</td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>					形 状	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表 面 処 理	・ スパンドレル形	・ アルミニウム			※ B-1 種 ・ B-2 種 (色:)	・ パネル形				・
形 状	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表 面 処 理																	
・ スパンドレル形	・ アルミニウム			※ B-1 種 ・ B-2 種 (色:)																	
・ パネル形				・																	
7	アルミニウム製笠木	笠木本体 ・ 250 型 ・ 300 型 ・ 350 型 ・ ・ 図示による (14.7.2) 表面処理 ※ A-1 種または B-1 種 ・ B-2 種 ・ 外壁色合わせアクリル樹脂塗装 材質 ・ ステンレス製製品 ・ アルミ製製品 性能 ・ 耐火仕様 ・ 一般仕様																			
8	エキスパンション ジョイント																				
⑨	天井廻縁	材質 ・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製 材質 ・ アルミニウム製 ・ 塩化ビニル製 天井 材質: ※ アルミ製製品 ・ 規格: ※ 450 角 ・ 床 材質: ※ アルミ製製品 ・ 規格: ※ 600 角 ・																			
12	アルミニウム防水木切	・ サンコピング木切Ⅱ型 製造所: 三協アルミ、ABC商会、杉田エース、又は同等品以上 ・ SUS304 40×22×1.5																			
13	床見切																				

工事番号・工事名 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		9 相連教1624号		P-17519		図面の名称 特記仕様書-2		作成年月日 平成29年10月	
株式会社 日匠設計		管理職監工 澤田 耕一		棟間 杉本 孝良		作図 大久保 晴二		縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号	
大坂本社 大坂府堺区南河原1丁目3番12号 TEL (072) -331-3857 FAX (072) -334-5931 滋賀県彦根市中野町2丁目9-5 杉本 孝良 TEL (0748) -72-1114 FAX (0748) -72-1166		一般建築士 198531号 澤田 耕一 一般建築士 109025号 杉本 孝良						1 : 1 0 0 1 : 2 0 0 A-03	

左官工事

①

モルタル塗り

左官

工事

2

セルフレベリング材塗り

3

仕上塗材仕上げ

4

ロックウール吹付

5

下地処理

①

モルタル塗り

②

セルフレベリング材塗り

③

仕上塗材仕上げ

④

ロックウール吹付

⑤

下地処理

⑥

下地処理

⑦

下地処理

⑧

下地処理

⑨

下地処理

⑩

下地処理

⑪

下地処理

⑫

下地処理

⑬

下地処理

⑭

下地処理

⑮

下地処理

⑯

下地処理

⑰

下地処理

⑱

下地処理

⑲

下地処理

⑳

下地処理

㉑

下地処理

㉒

下地処理

㉓

下地処理

㉔

下地処理

㉕

下地処理

㉖

下地処理

㉗

下地処理

㉘

下地処理

㉙

下地処理

㉚

下地処理

㉛

下地処理

㉜

下地処理

㉝

下地処理

㉞

下地処理

㉟

下地処理

㊱

下地処理

㊲

下地処理

㊳

下地処理

㊴

下地処理

㊵

下地処理

㊶

下地処理

㊷

下地処理

㊸

下地処理

㊹

下地処理

㊺

下地処理

塗裝工事

① 塗装工事	1 素地ごしらえ	木部 ※ A種（透明塗料の場合はB種） ・ B種 (18.2.2), (表18.2.1) 鉄面（鉄骨工事は除く） ・ A種 ・ B種 ※ C種 (18.2.3), (表18.2.2) 亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.2.4), (表18.2.3) セルタラ・プラスター面 ・ A種 ※ B種 (18.2.5), (表18.2.4) コンクリート・ALCパネル面 ・ A種 ※ B種 (18.2.6), (表18.2.5) コンクリート・押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 (18.2.6), (表18.2.6) せっこうボード面 ・ A種 ・ B種 (表18.2.7) (組工処理工法の場合はA種)	
	2 錆止め塗料塗り	塗料種別 亜鉛メッキ面 ※ A種（EP-Gの場合はC種） ・ B種 (表18.3.2) グリーン鋼入法に基づく亜鉛型錆止め塗装を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得ること。 錆止め塗料塗り 鉄面 ※ 見掛けA種、見隠れB種 (18.3.3), (表18.3.3) 亜鉛メッキ面 ※ 鋼製建具A種、その他C種 C種に用いる錆止め塗料種別はB種とする。	
③ 一般塗料	3 一般塗料	合成樹脂調合ペイント（SOP） 標準による (18.4.2-5) クリヤラッカー塗り（CL） 標準による (18.5.2) アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（RAD） 標準による (18.6.2) 耐候性塗料塗り（DP） 標準による 鉄面 上塗り：等級：1級 ◎A種（新設部）◎B種（従設部）・C種 (18.7.2) 亜鉛メッキ面 上塗りの等級：1級 (18.7.3) コンクリート面・押出成形セメント板面 ◎A種（新設部）◎B種（従設部）・C種 (18.7.4) つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G） 標準による (18.8.2-5) 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） 標準による (18.9.2) 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T） 標準による (18.10.2) ウレタン樹脂フニス塗り（UC） 標準による (18.11.2) オイルステイン塗り（OS） 標準による (18.12.2) 木材保護塗料塗り（WP） 標準による (18.13.2) マストック塗料塗り ・ A種 ・ B種 (18.14.2)	
	4 特殊塗料	J I S規格品	
⑤	5 既存改修下地調整	※ R B種	
	6 DP錆止め	◎〔新設部〕 J I S 5 5 5 1 〔従設部〕 変性エポキシ樹脂プライマー	

① 9 内装工事

① 内 装 工 事	1a ビニル床シート張①	シートの種類 厚 さ (mm) 継 目	※ 織布植覆床シート (NC) ① ※ 2.5 ・ 既設合わせ ※ 熱溶接 ・ 突きつけ	① 消費NSTフレNW ② ② 2.0	(耐湿工法)	(19.2.2)
	1b ビニル床シート張②	シートの種類 厚 さ (mm) 継 目	※ 織布植覆床シート (NC) ・ ※ 2.B ・ 既設合わせ ※ 熱溶接 ・ 突きつけ	・ ACフロア	(耐湿工法)	(19.2.3)
	2 ビニル床タイル張り	材 質 厚 さ (mm)	※ 特種コボジョビニルタイル ・ 植覆コボジョビニルタイル ・ 特設アビニルタイル ※ 2.0 ・			(19.2.2)
	3 特殊機能床材	材 質 厚 さ (mm)	・	厚 さ (mm) ・		(19.2.2)
	④ ビニル巾木	厚 さ (mm) ※ 2.0 ・		高 さ (mm) ・ 60 ⑤ 75 ・		(19.2.2)
	5 カーペット敷き	・ 織じゅうたん				(19.3.3)

建具工事

具
工
事

		※ A 種	S-4	A-3	W-4	※ 70	※ 100	
		※ B 種	S-5					
		※ C 種	S-6	A-4	W-5	※ 100		
2	網戸等	防虫網	※ SUS316	・合成樹脂製	・ガラス繊維入り合成樹脂製			(16.2.3)
3	銅製建具							(16.3.2)
4	銅製軽量建具							(16.4.2)
5	ステンレス製建具							(16.5.2)
6	木製建具	加工・組立時の含水率	※ A 種	※ B 種	・ C 種			(16.6.2), (練16.6.1)
7	自動ドア開閉装置							(16.8.2)
8	自閉式上吊り引戸装置							(16.9.3)
9	重量シャッター	シャッターの種類:	・ 一般重量シャッター		・ 外壁用防火シャッター			(16.10.2)
			・ 屋内用防火シャッター		・ 防塵シャッター			
10	軽量シャッター							(16.11.2)
11	オーバーヘッドドア							(16.12.2)
12	ガラス留め材	材 質	※ シーリング	・ ガスケット				(16.13.2)
13	建具金物	吊金物						(16.7.2), (練16.7.1)
		※ 丁番	材質: ※ SUS	・ 黄銅	(内部建具の軸は銅製としてもよい)			
		・ ボットセンシジ	材質: ※ SUS	(センシジおよび軸は銅製)	・ 亜鉛合金(木製建具用)			
14	鍵	マスターキーの製作	※ 製作する	・ 製作しない				(16.7.4)
		改修工事におけるキーのマスター合わせ	※ 行う	・ 行わない				
		個数:	種類: ※ 既製品	・ 製品				
		なわ、室名等の記入は、事前に監督職員と協議のうえ決定すること。						

カーテンウォール工事

17	1	メタル カーテンウォール	(17.2.2)
	2	PC カーテンウォール	(17.3.2)

カーテンウォール工事

ユニット及びその他工事

②
ユニ
ニッ
ト及
びそ
の他
工事

1

フリーアクセスフロア

・ 電気配線 ・ 鋼板製 ・ 木質製 ・
構造 ※ パネル構造 ・ 溝構造
寸法 ※ 500 (mm) X 500 (mm) ・ 仕上高さ: (mm)
機能荷重: (t/㎡) ・ 適用地震時水平力 ・ 1. 0 G ・ 0. 6 G
スロープ、ボデー等、およびコンクリートの兼用製造所の標準仕様 ・ 図示

(20. 2. 2)

2

可動間仕切
(パーティション)

表面仕上材の品質、規格等は、19 扉内装工事による
構造形式 ・ スタッド式 ・ スタッドパネル式 ・ パネル式 ・ パネル厚さ: (mm)
表面材種 ※ 鋼板 (厚さ: ※ 0. 6 ・ 0. 8) ・
仕上材 ※ メラミン樹脂合板またはアクリル樹脂塗装付き ・
品質は、JIS A 6511 によるものとする。

(20. 2. 3)

3

移動間仕切

遮音性能 ・ 一般タイプ
・ 遮音タイプ (JIS A 6512 の音価値に準拠し、透過損失で 36 dB 以上のもの)

(20. 2. 4)

4

階段滑り止め

表面材種 ※ 鋼板 ・ 表面仕上げ ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り
工法 ※ 接着工法 ・ 埋込工法

(20. 2. 6)

外部材質
内部材質
形状

ステンレス SUS304 製 幅 (mm) ・ 30 ※ 35 ・ 40
ステンレス製 (ビルトタイプまたはゴム縁込み) 幅 (mm) ・ 30 ※ 35 ・ 40
両端フラットエンド ※ あり (※ ビルド製 ・ ステンレス製) ・ なし

5

黒板

種 類 ※ 焼付け黒板 ・ 研ぎ出し黒板 色 彩: ※ 緑 ・ 黒

(20. 2. 8)

6

ホワイトボード

種 類 ※ アルミニウム製 ・ 木製
※ ほうろう ・ 色 彩: ※ 白 ・
※ アルミニウム製 (行事用は打合せにより文字ライン入り)

(20. 2. 8)

7

掲示板

※ 図示 ※ スポジシート (アルミ仕様) ・ 色 彩:

8

衝突防止表示

種 類による (市販品 ※ ステンレス製 径 ※ 約 30mm ・ mm/ ・ 両面 ・ 片面) (20. 2. 10)

(20. 2. 10)

9

室名表示等

形式 ※ 面付型 ・ 持出型 ・ 点字型
材質 ※ アクリル製 ・ ステンレス製 ※ アルミ製

(20. 2. 10)

10

ブラインド

(20. 2. 12)

形 式

開 閉 方 式

スラットの材質

スラットの板型幅

※ 模型

※ ギヤ式 ・ コード式
※ 操作棒式 ・ 電動式

※ アルミ合金製

※ 25

※ 板型

※ 1 本操作コード ・ 2 本操作コード

※ アルミ ・ クロス

※ 80 ・ 100

昇降タイプの材質: ※ ポリエステル繊維

11

ロールスクリーン

※ 図示による

(20. 2. 13)

12

カーテン

形 式 ・ 片引き ・ 引分け
引分け装置 ※ ひも引き ・ 電動
ひだの種類 ・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ
きれ地の品質等

(20. 2. 14)

13

カーテンレール

材種 ・ アルミ合金製 ・ ステンレス製
形状 ・ シングル ・ ダブル (ただし、暗幕用は 30.0mm 以上の引合せの重掛けとする。)

(20. 2. 14)

14

ブラインドボックス
およびカーテンボックス

※ 図示による
※ 市販品 (アルミニウム製 引出し型材) 溝幅 ※ 深さ (mm) :

15

くつふきマット

マット ・ 電気製ラインマット ・ 硬質アルミ ・ プラシタイプマット
・ ゴム製 ・ ステンレス製
受枠 ・ ステンレス製 ・ 硬質アルミ合金製
種類 ※ 粉末 ABC 消火器 (・ 4 型 ・ 6 型 ※ 10 型 ・ 20 型) ・

16

消火器

なお、申請手続きも本工事にて行うこととする。
消火器ボックス ※ 設ける (※ 全埋込型 ・ 据置型) <文字表示入り> ・ 設けない
家具製作所にて製作するものとし、製作に先立ち施工図製作のうえ、監督監修の承諾を得る。

(12. 2. 2), (19. 7. 2)

17

造り付け家具
収納、収納家具

製造所:

18

フェンス

○ 図示 製造所: 小松ウォール・コマニー・文化シヤッター・日本シンドル

又は同等品以上

9

トイレブース

○ 図示 製造所: 室金物・滋賀興業・金鋼機工

又は同等品以上

10

造り付け手摺

○ 図示 製造所: 室金物・滋賀興業・金鋼機工

又は同等品以上

11

ステンレス面台

21 排水工

21 排水 工事	1	排水溝	種類	・ U字溝 ・ 現場打設溝 ・ 勾配可変側溝	
	2	排水管	種類	・ 球質塩化ビニル管（ ・ VP ・ VU） ・ 速心欠陥防コンクリート管（外圧管 ・ 1種 ・ 2種） ・ リサイクル球質ポリ塩化ビニル管（RS・VU、RP・VP）	(21.2.1)
	3	排水ます	車道部の排水管の敷設	・ 図示 ・ 砂基礎（地盤厚さ200mm以上 材料：山砂の類）	
			ますの種類	・ 現場施工 ・ 既製の一種に配慮した材料として（既設管物の溶融固化物等を極力使用すること 製品はJISで製品、JISに規定のない製品はJIS工場製品または同等品とする）	(21.2.2)
			ふたの種類	・ コンクリート蓋 ・ マンホール蓋 ・ グレーチング蓋	(21.2.2)
			適用荷重	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	(21.2.2)
			材 質	・ 鋼製 ・ ステンレス製	
			適用荷重	・ 歩行用 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用	
			・ 化粧蓋		

22 鋪裝工事

22	1 路床	造断層 CBR試験 締固め度試験	※ 設ける (・ 川砂 ・ 山砂) ・ 設けない 行わない ・ 行う 行わない ・ 行う	(22.2.2), (22.2.3) (22.2.5)
	2 路盤	種類	※ 再生クラッシュラン RC-40 ・ クラッシュラン C-40 厚さ : 150 (mm)	(22.3.2), (22.3.3)
舗装工事	3 アスファルト舗装	・ アスファルト舗装材質 車道部の基層 ・ シールコート ・ 混合物の吐出試験 ・ 締固め度及び基層厚さの取り切り試験	※ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト ※ なし 厚さ (mm) 表層 ※ 50 ・ ・ あり 厚さ (mm) 表層 ※ 30 ・ 基層 ※ 50 ・ ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う ※ 行わない ・ 行う (ただし、200mm未満は省略する。)	(22.4.2-4) (22.4.5) (22.4.6)
	4 コンクリート舗装	舗装の種類 車道部の基層	・ 加熱融混合物 ・ 樹脂系混合物 (常温形) ・ ニート工法 ・ 塗布工法 ・ あり ・ なし	(22.5.2), (22.5.3) (22.6.2)
舗装工事	5 カラー舗装	加熱融混合物に添加する着色骨材又は自然石		(22.6.3)
	6 透水性アスファルト舗装	種類	・ 改質アスファルトⅠ類 ※ 改質アスファルトⅡ類	(22.7.2), (22.7.3) (22.8.2), (22.8.3)
舗装工事	7 単粒性アスファルト舗装	種類	※ 普通平板 ・ カラー平板 ・ 洗出平板 ・ 擬石平板 寸法 (mm) ※ 300角 ・ 厚さ (mm) 目地材 ※ 砂 ・ モルタル	(22.9.2), (22.9.3)
	8 ブロック系統舗装	・ インターlocking型ブロック舗装 種類 厚さ (mm) 車道部 ・ 縁石舗装	※ 橋樑ブ ロック ・ 透水性ブ ロック ・ 誘導、注意喚起用ブ ロック 厚さ (mm) 車道部 ※ 80 ・ 歩道部 ※ 60 ・ ・ 縁石舗装	(22.9.3)
舗装工事	9 路面表示用塗料	基層の種類 種類	※ コンクリートの舗装 ・ アスファルト舗装 ※ 小鎮石 (花こう岩) 厚さ (mm)	(22.9.2) (22.9.3)
	10 路面表示用塗料	品質 寸法 幅 (mm) ※ 150 ・ 厚さ (mm) ※ 1.0	JIS K 5665による ※ 3種1号 ・ 色	
舗装工事	11 縁石等	形状寸法	・ 図示	施工 ※ 溶融式 ・
	12 砂利敷	荷重上支障のない箇所については、極力下水汚泥汚染スラグ混入製品を使用すること		(22.11.2)

植栽工事

1 植栽基盤整備工法
2 植込み用土
3 土壤改良材
4 支柱
5 新植樹木の枯梢剪
6 移植樹木の枯損処置
7 芝張り
8 吹付けは種子播き等
9 樹根緩板

種別

A種・B種・C種・D種
※ 室土・現場発生の農土
※ バーク堆肥
仕様：
汚染底層材料（下水汚泥コンポスト）
材質 ※ 加工圧入防虫処理木
形状 ※ 鳥型、丸型、六角形、三角形、四角形、ワイヤ型等・地下埋設型
※ 引渡しの日から1年
※ 引渡しの日から1年
※ 引渡しの日から1年
種別 ※ こうり定・野芝
種子の種類 ※ 洋芝類
吹付の量
樹根ごとに、2割以上設置すること。

(23.2.2)、(23.2.3)
(23.2.3)
(23.2.3)
(23.2.3)
(23.3.4)、(23.4.7)
(23.3.6)
(23.2.4)
(23.4.2)

解体工事

① 解体工事に関する特記事項

1．解体建物（解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む）は特記なき限り、地盤面下も含め分別解体撤去すること。（地盤面下は全てコンクリートを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。）
廃材除去の際に作業場所については受注者において決定し、事前に監督職員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結すること。
2．解体材が敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。
3．解体作業により万が一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、受注者の責任において現況に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合も受注者の責任において現状に復旧すること。
4．解体に先立ち、石綿検出率について、アスベスト含有の有無を確認すること。
5．アスベスト成形部については、関係法令に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。

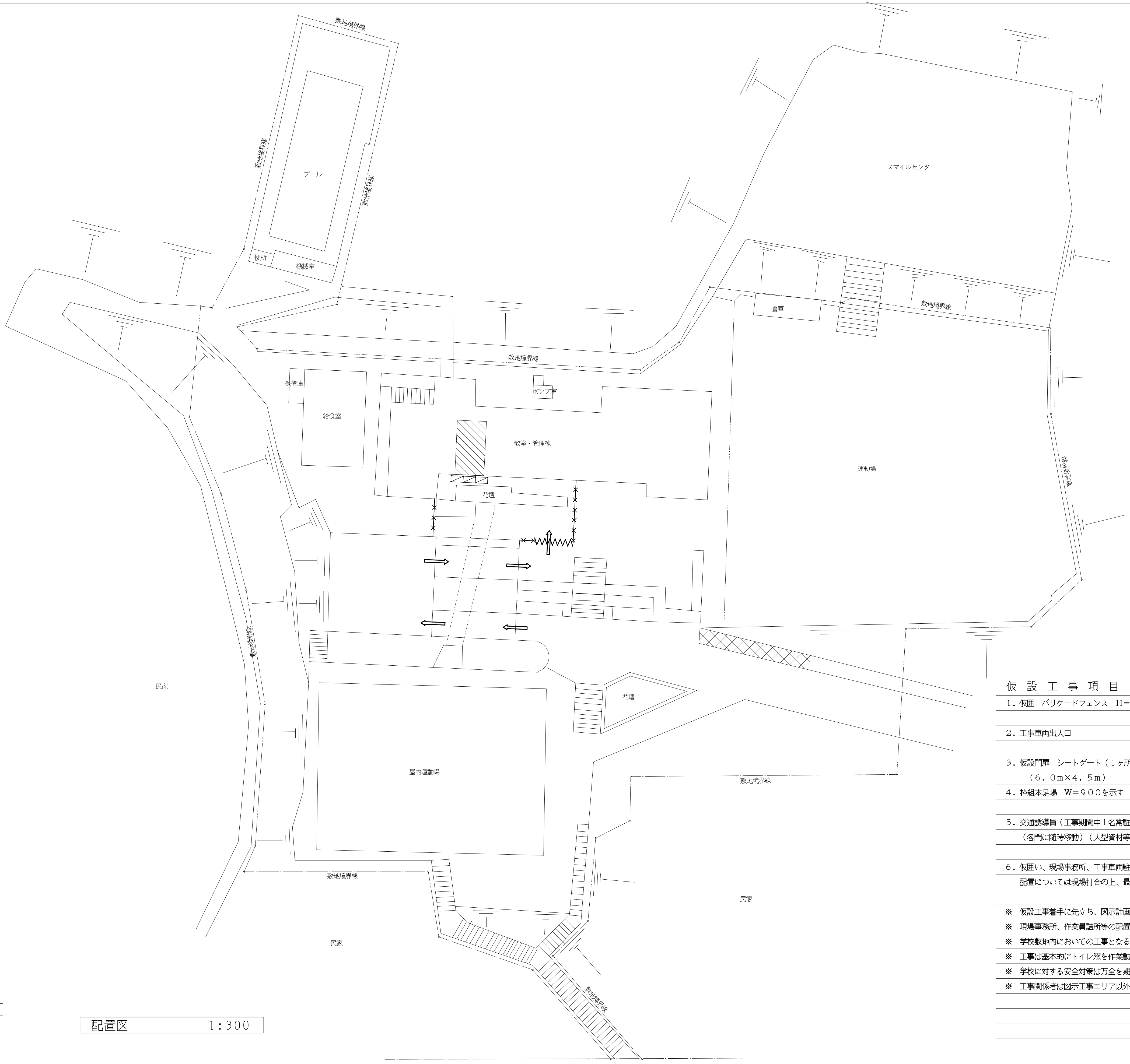
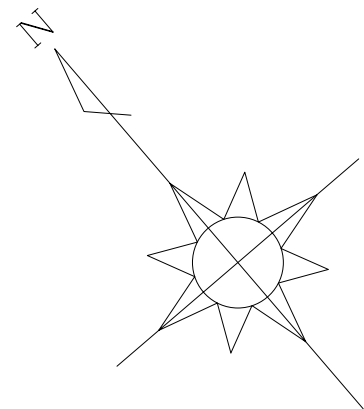
アスベスト撤去工事

特記仕様書

① 工事仕様
② 一般共通事項
③ アスベスト撤去工事

① 一般仕様
本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の取付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、国土交通省国土官庁官

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立中小学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519		図面の名称		作成年月日	
特記仕様書-3						平成29年10月	
株式会社 日匠設計 大塚社 大塚南内保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 杉本 孝良 TEL 072-334-5931 FAX 072-334-5931 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166				管理職 藤田 耕一 検印 大久保 晴二		縮尺 (A1)	縮尺 (A3)
						1:100	1:200
						図面番号 A-04	



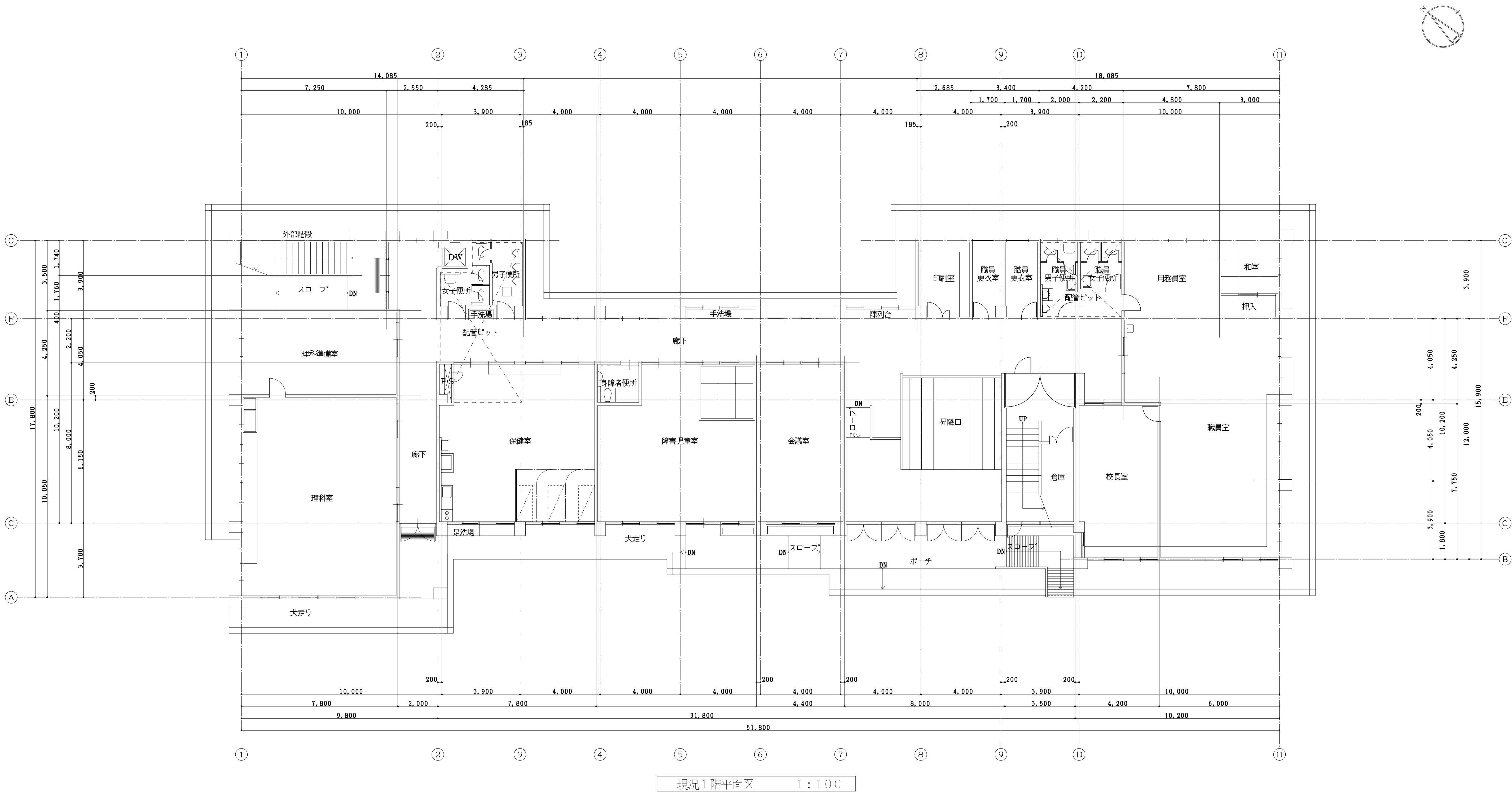
仮 設 工 事 項 目		[凡 例]
1. 仮囲い	バリケードフェンス H=1.8 (3ヶ月)	→X←
2. 工事車両出入口		⇨
3. 仮設門扉	シートゲート (1ヶ所) (3ヶ月) (6.0m×4.5m)	www
4. 枠組本足場	W=900を示す (3ヶ月)	▧
5. 交通誘導員	(工事期間中1名常駐) ガードマンボックス共 30人・日以上 (各門に随時移動)(大型資材等の搬入時は増員のとこ)	
6. 仮囲い、現場事務所、工事車両駐車スペース等の配置	については現場打合の上、最終決定とする	
※ 仮設工事着手に先立ち、図示計画内容を基本に請負業者にて立案し承諾を得てから着手すること		
※ 現場事務所、作業員詰所等の配置、規模は参考とする		
※ 学校敷地内においての工事となる為、学校側と綿密に協議しながら工事の進捗を計ること		
※ 工事は基本的にトイレ窓を作業動線とすること、但し大型材料等は学校と協議し昇降口等より搬入する		
※ 学校に対する安全対策は万全を期すると共に学校行事にも協力すること		
※ 工事関係者は図示工事エリア以外の学校敷地内駐車は不可、必要な場合は請負者にて校外に別に確保すること		

註 記
今回工事改修位置を示す

配置図 1:300

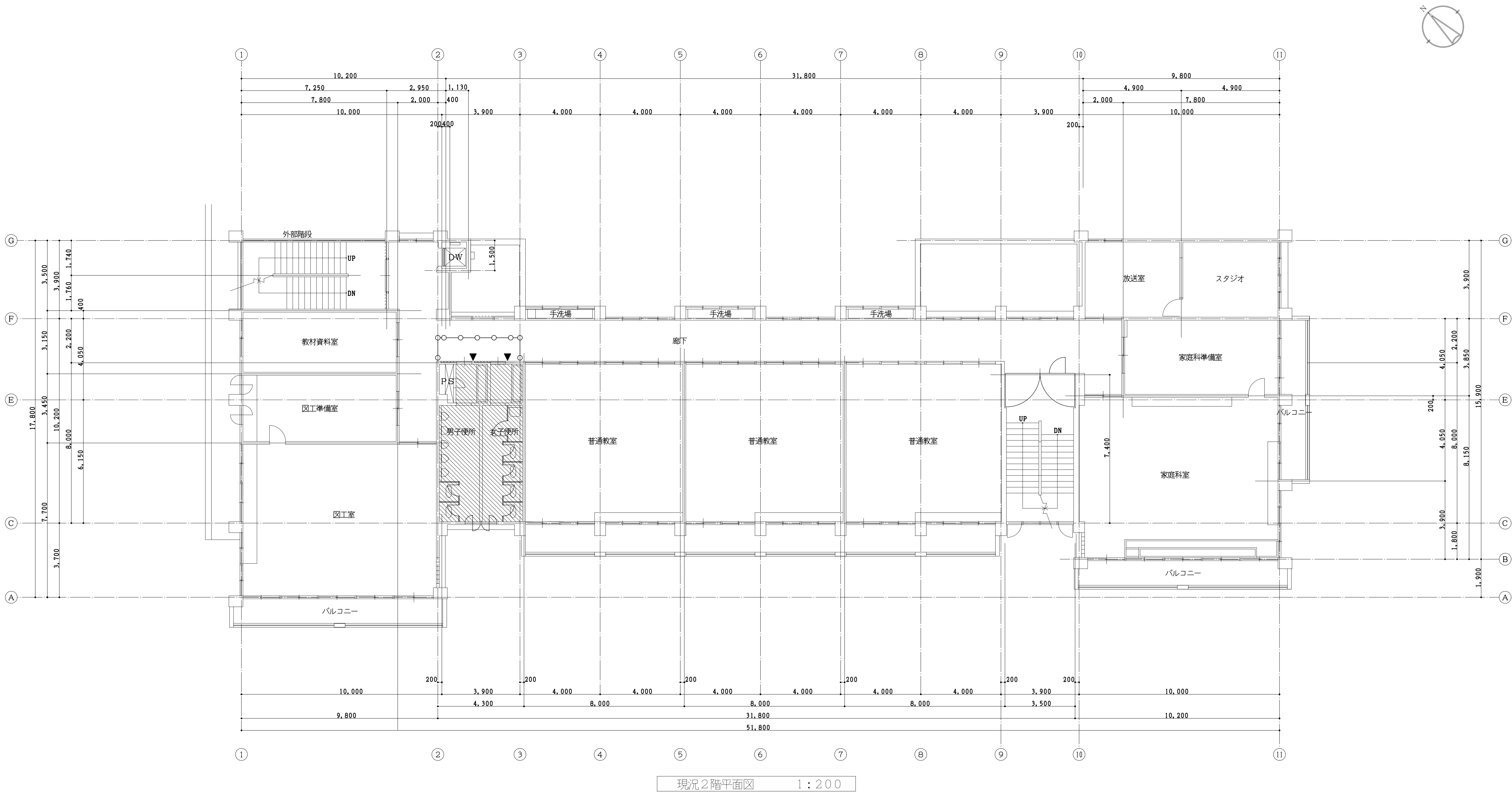
国道163号線

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称 配置図		作成年月日 平成29年10月	
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市阪狭1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職兼士 澤田 耕一 検印 杉本 孝良 作印 大久保 晴二	縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号		1:300 1:600 A-05	

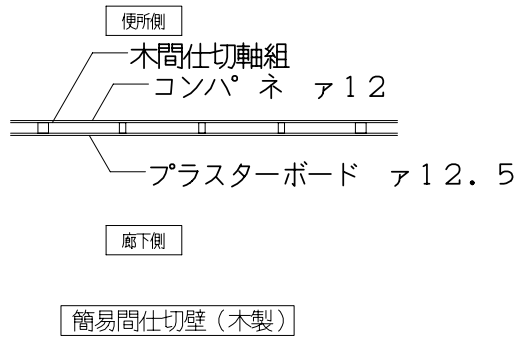


現況1階平面図 1:100

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519 図面の名称		作成年月日	
		現況1階平面図		平成29年10月	
株式会社 日匠設計		管理職課士 澤田 耕一	機関 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	図面番号
大坂本社 大坂府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一					
TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931					
滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良					
TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166					
		縮尺 (A1)	縮尺 (A3)		
		1:100	1:200	A-06	

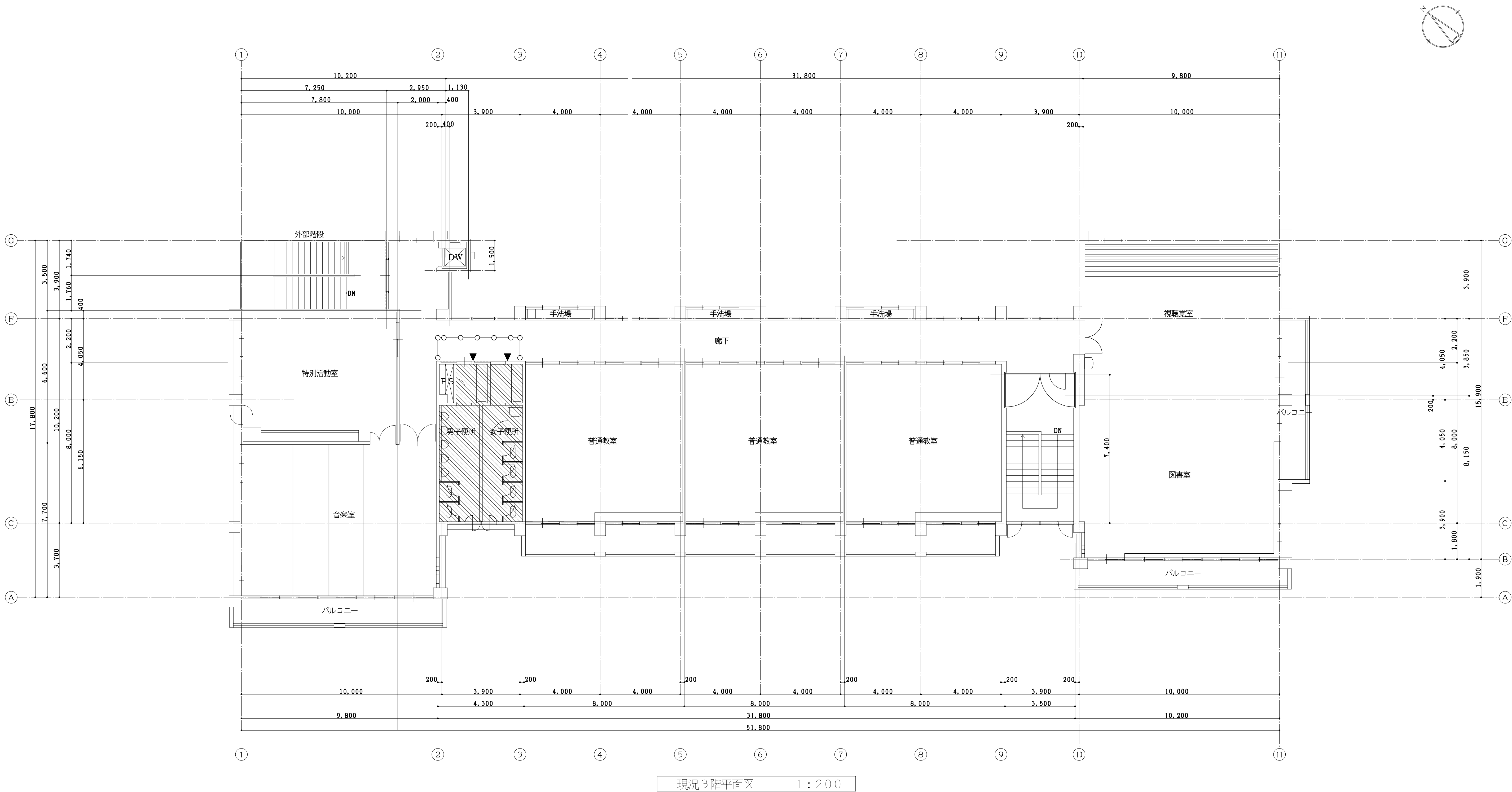


現況2階平面図 1 : 200

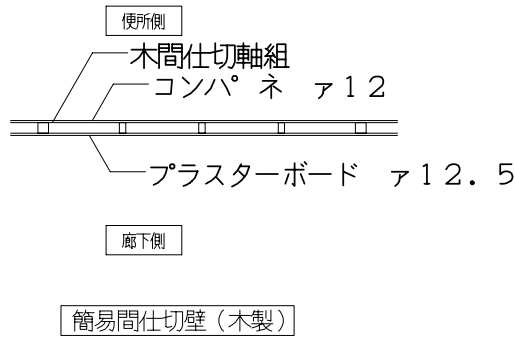


註 記	
	は 今回改修部分を示す
	は 釜名札 の取付位置を示す
	は 簡易間仕切壁を示す (天井までH=3,000)

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連立立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称 現況2階平面図	作成年月日 平成29年10月
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市阿保1丁目3番12号 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬野中央2丁目95 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職 藤田 耕一 機関 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 (A1) 1:100 縮尺 (A3) 1:200 図面番号 A-07	



現況3階平面図 1:200



註 記	
	は 今回改修部分を示す
	は 釜名札 の取付位置を示す
	は 簡易間仕切壁を示す (天井までH=3,000)

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称 現況3階平面図	作成年月日 平成29年10月
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬田中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職兼士 澤田 耕一 機関 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 (A1) 1:100 縮尺 (A3) 1:200 図面番号 A-08	

現況断面詳細図 1:30

- 註 記
- 床スラブ・土間コンクリート撤去部分を示す
 - 軽量コンクリート撤去部分を示す
 - 仕上のみ撤去部分を示す（下地共）
 - 人研・壁躯体 撤去部分を示す
 - カッター切を示す
 - の文字は今回工事部分を示す

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称	作成年月日
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市阪本1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職兼士 澤田 耕一 検印 杉本 孝良 作印 大久保 晴二	現況断面詳細図	平成29年10月
			縮尺 (A1)	縮尺 (A3)
			1:30	1:60
			図面番号	
			A-09	

改修断面詳細図 1:30

- 註 記
- 床スラブ・土間コンクリート新設部分を示す
 - 軽量コンクリート新設部分を示す
(アスファルト防水W100取合い共)
 - 仕上のみ新設部分を示す(下地共)
 - 既設部分を示す
 - の文字は今回工事部分を示す
 - はコーキング新設部分を示す
木材見切縁は柵を使用する

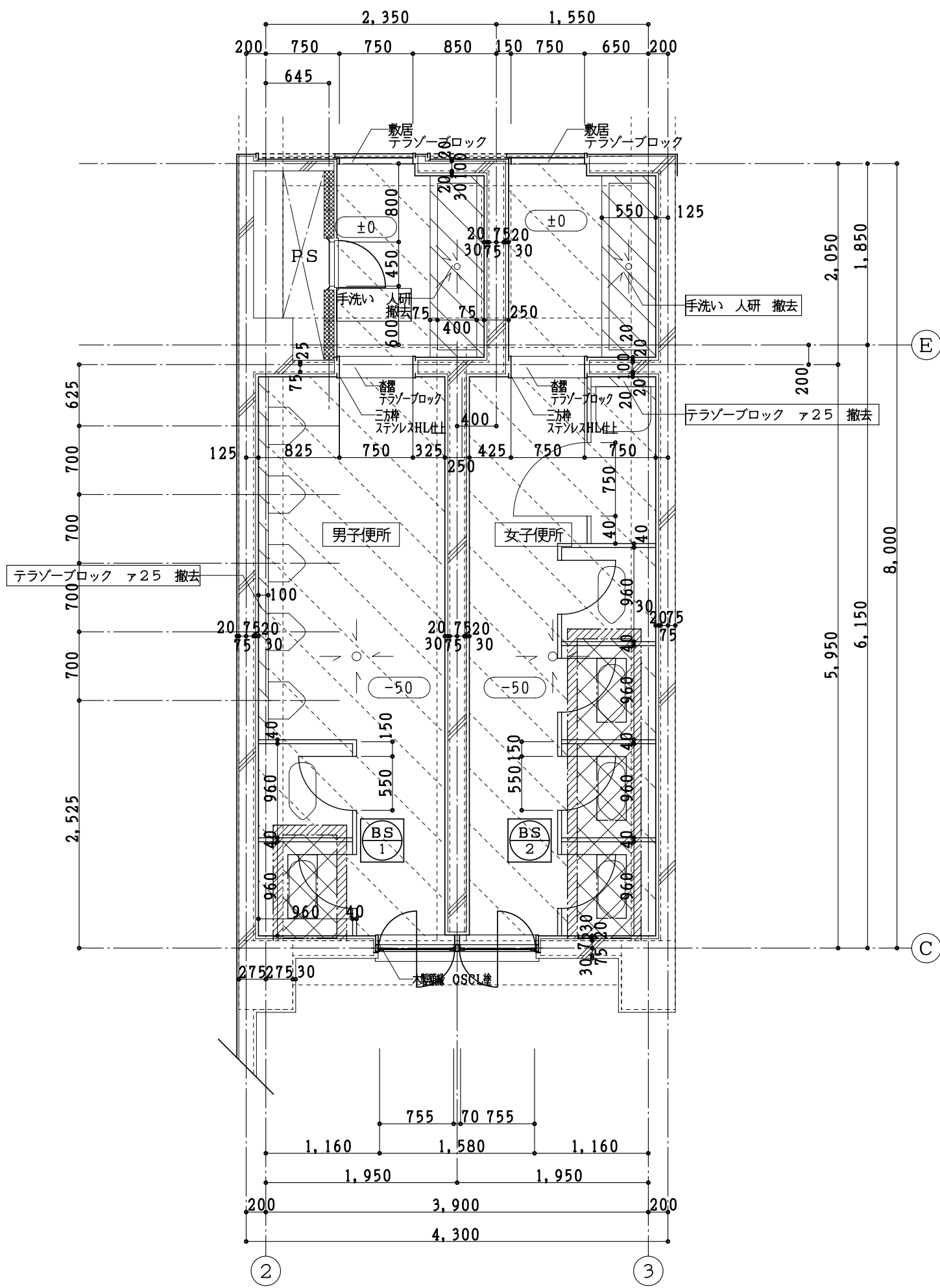
工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称 改修断面詳細図		作成年月日 平成29年10月
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府吹上区南堀江1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職兼士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
			1:30	1:60	A-10

D-1	(校舎棟) 便器開口詳細図 (2・3階)	既設範囲を示す	1:20	D-2	(校舎棟) L型手摺	1:30	D-3	(校舎棟) P型手摺	1:30	D-4	(校舎棟) 小便器用手摺	1:30	D-5	(校舎棟) ライニング壁詳細図 (LGS下地)	1:30	D-6	(校舎棟) ステンレス面台	-																																			
既設開口閉塞 既設長辺方向: 上端筋 D10D13@200 下端筋 D10D13@200 上端筋 ← 下端筋 (10d) 無収縮モルタル LGS-30 又はスラブコンクリート (10d) 既設短辺方向: 上端筋 D13@300 下端筋 D13@300 上端筋 D13@300 無収縮モルタル LGS-30 又はスラブコンクリート 下端筋 D13@300 既設鉄筋 200(表) L1(L2) 200(裏) ※開口部はつりを行う前に鉄筋検査を行うこと ステンレス製 38φ 4ヶ所 700 500 600 ステンレス製 38φ 4ヶ所 180 560 830 ステンレス製 38φ 2ヶ所 280 200 700 600 500 面台: ステンレス面台 ア1.0 ライニング 新設 (下地LGS6.5共) 耐水アクリルスターボード ア12.5+化粧ボード ア3 (目地部はシーリング) SK及び小便器取付金具部分には LGS下地材を配属すること 150 25 <table><tr><td>名 称</td><td colspan="3">材 質・仕 様</td></tr><tr><td>面 台</td><td colspan="3">ステンレス304 t1.0</td></tr><tr><td>木下地</td><td colspan="3">木下地</td></tr></table><table><tr><td>家具番号</td><td>W×D</td><td>設置名</td><td>台 数</td></tr><tr><td>1</td><td>3700x150</td><td>2・3F 男子便所 (小便器)</td><td>2台</td></tr><tr><td>2</td><td>660x150</td><td>2・3F 女子便所 (SK)</td><td>2台</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																		名 称	材 質・仕 様			面 台	ステンレス304 t1.0			木下地	木下地			家具番号	W×D	設置名	台 数	1	3700x150	2・3F 男子便所 (小便器)	2台	2	660x150	2・3F 女子便所 (SK)	2台												
名 称	材 質・仕 様																																																				
面 台	ステンレス304 t1.0																																																				
木下地	木下地																																																				
家具番号	W×D	設置名	台 数																																																		
1	3700x150	2・3F 男子便所 (小便器)	2台																																																		
2	660x150	2・3F 女子便所 (SK)	2台																																																		

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

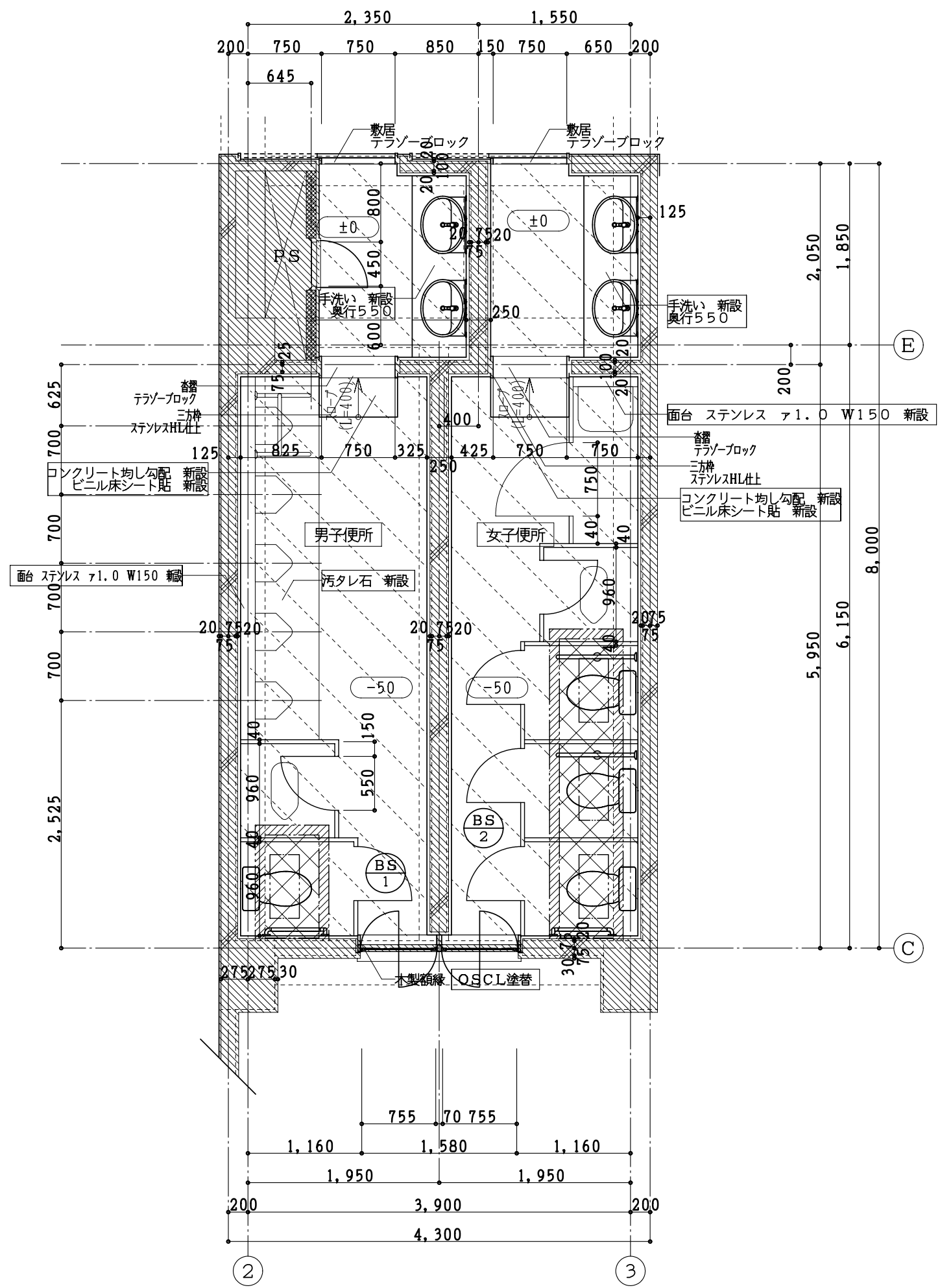
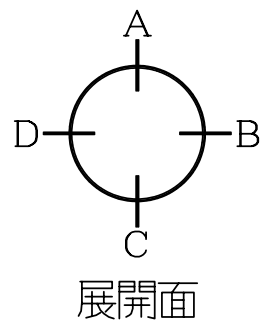
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

										工事番号・工事名	9相連教1624号	P-17519	図面の名称	作成年月日
										相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)				平成29年10月
										部分詳細図				
										縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号		
										1:30	1:60	A-11		



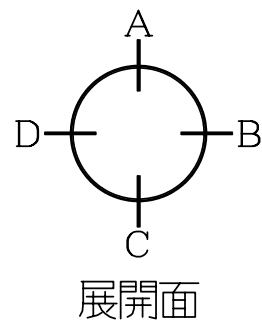
現況2・3階平面詳細図 1：50

- 註 記
- 床スラブコンクリート撤去部分を示す
 - 軽量コンクリート撤去部分を示す
 - 仕上のみ撤去部分を示す（モルタル下地共）
 - 人研 撤去部分を示す
 - カッター切を示す
 - の文字は今回工事部分を示す
 - 撤去建具を示す
 - +000 床高さを示す
 - 衛生器具は男女共、和便器1個ずつ残し他は撤去（設備）



改修2・3階平面詳細図 1：50

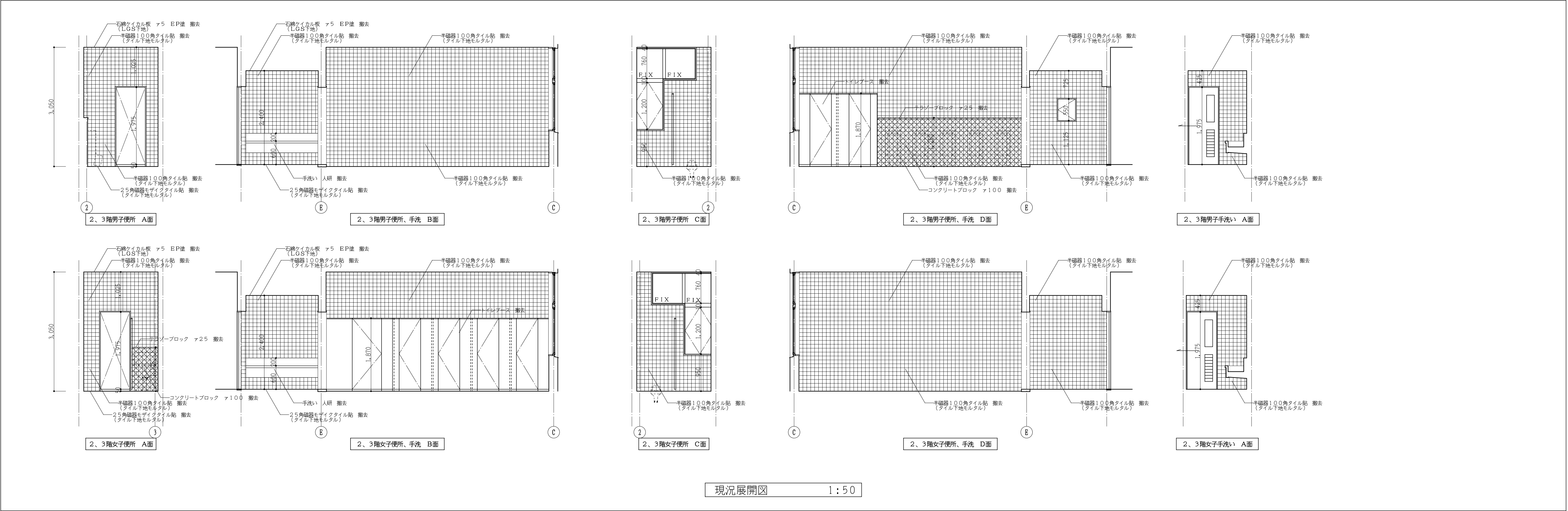
- 註 記
- 床スラブコンクリート新設部分を示す
 - 軽量コンクリート新設部分を示す
 - 仕上のみ新設部分を示す（モルタル下地共）
 - 既設部分を示す
 - の文字は今回工事部分を示す
 - 新設・改修建具を示す
 - +000 床高さを示す
 - 衛生器具は男女共、和便器1個ずつ残し他は新設（設備）



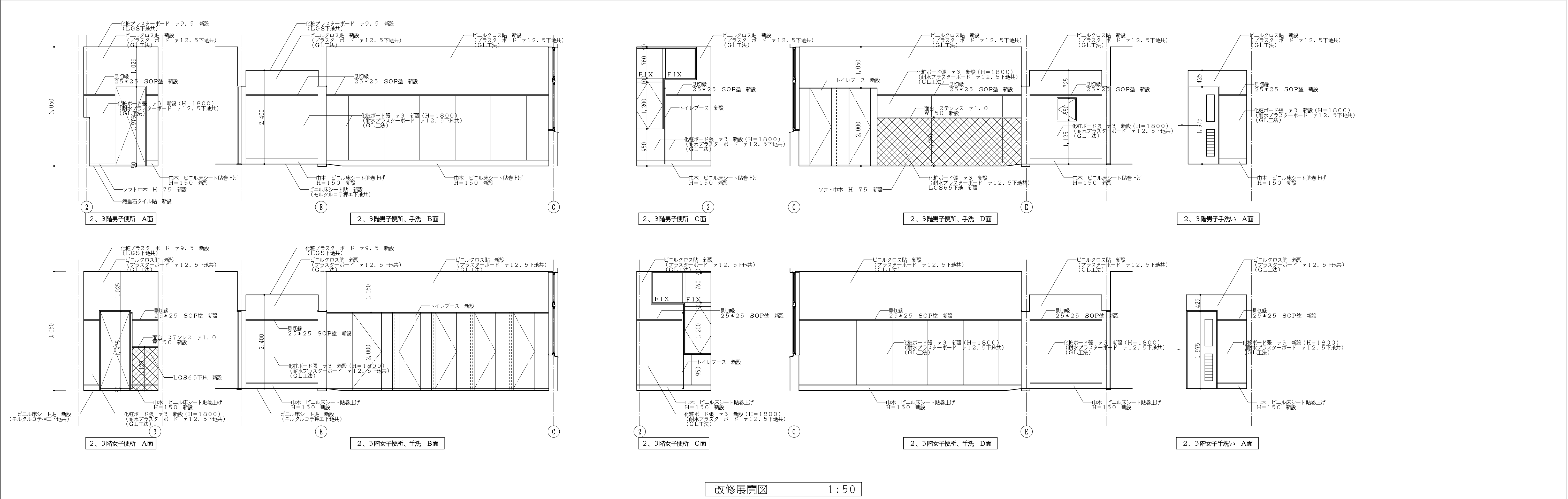
室内仕上 () 内は、下地を示す

棟	階	室 名	天井高	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	備 考
校舎棟	2・3	男子便所	現 況	25角磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 押エコンクリート ア60共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 C B ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	石焼ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース 撤去
			改 修	ビニル床シート貼 新設(モルタルコテ押エ下地共) 汚塞石タイル貼 新設 (タイル下地モルタル共) (一部 押エコンクリート ア60共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押エ下地共) (一部 ソフト巾木 H=75 新設)	化粧ボード張 ア6 新設(H=1800) (耐水プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧プラスチックボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口 新設
		女子便所	現 況	25角磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 押エコンクリート ア60共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 C B ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	石焼ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース 撤去
			改 修	ビニル床シート貼 新設 (モルタルコテ押エ下地共) (一部 押エコンクリート ア60共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=150巻上げ 新設 (モルタルコテ押エ下地共)	化粧ボード張 ア6 新設(H=1800) (耐水プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (プラスチックボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧プラスチックボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口 新設
	廊下	現 況	3,000	ブナフローリングブロック ア15 (モルタルコテ押エ下地)	木製巾木 H=75 OP塗	モルタルコテ押エ VE塗	モルタルコテ押エ VE塗	化粧プラスチックボード ア9 (LGS下地共)	
		改 修	3,000	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	
1	保健室	現 況	3,000	ブナフローリングブロック ア15 (モルタルコテ押エ下地)	木製巾木 H=75 OP塗	モルタルコテ押エ VE塗	モルタルコテ押エ VE塗	化粧プラスチックボード ア9 撤去 (LGS下地共)	
		改 修	3,000	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	化粧プラスチックボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	

工事番号・工事名 9相連校1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		P-17519	図面の名称		作成年月日
			現況・改修2、3階平面詳細図		平成29年10月
株式会社 日匠設計 大坂本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬田中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理職兼士 澤田 耕一 検閲 杉本 孝良 作成 大久保 晴二	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
			1：50	1：100	A-12



現況展開図 1:50



改修展開図 1:50

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)					P-17519 図面の名称		作成年月日	
					現況・改修展開図		平成29年10月	
株式会社 日匠設計 大塚本社 大塚市松原町1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬田中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166					管理職兼士 澤田 耕一	検閲 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	図面番号
					縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号	
					1:50	1:100	A-13	

電気設備工事特記仕様書

1) 工事概要									
工事名称	相模東部広域連立小中学校トイレ改修工事（笠置小学校第1期）								
工事場所	京都府相楽郡笠置町大字笠置地内								
建物構造	○ 一般建築物 ● 耐火建築物				○ 準耐火建築物				
建物用途	建築基準法				消防法施行令 第7項（ ）				
用途地域	都市計画区域外								
工事期間									
（ただし、現地における作業は、平成 年 月 日以後とする。）									
2) 工事項目 ※ 工事項目は、No 記入項目を適用する。									
No	工事項目	新設	増設	改修	No	工事項目	新設	増設	改修
()	低圧引込設備	○	○	○	()	電気時計設備	○	○	○
()	受変電設備	○	○	○	()	自動火災警報知設備	○	○	○
()	自家発電設備	○	○	○	()	防火戸自閉設備	○	○	○
()	電動動力幹線設備	○	○	○	()	ガス漏れ警報設備	○	○	○
()	動力設備	○	○	○	()	構内情報設備	○	○	○
(1)	電灯コンセント設備	○	○	●	()	緊急通報設備	○	○	○
()	電話設備	○	○	○	()	機械警報設備	○	○	○
()	拡声設備	○	○	○	()	在席・出席表示設備	○	○	○
()	テレビ共聴設備	○	○	○	()	中央監視設備	○	○	○
()	監視カメラ設備	○	○	○	()	ナイター照明設備	○	○	○
()	インターホン設備	○	○	○	()	太陽光発電設備	○	○	○
()	トイレ呼出設備	○	○	○					
()	チャイム設備	○	○	○					
3) 建物概要									
No	建物名称	構造	階数 地下地上	延面積 m ²	備考				
1.			/						
2.			/						
3.			/						
	合　計								
4) 共通事項									
●	適用	項目および特記事項は、●印の付いたものを本工事に通用する。							
●	監督員	監督員とは、工事請負契約書に規定する監督員をいう。							
●	共通仕様書	● 国土交通省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事標準仕様書」最新年度版 ● 国土交通省住宅局住宅建設課監修「公共住宅建設工事標準仕様書解説書(総則編、電気編)」最新年度版 ● 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「電気設備工事標準仕様書」平成28年度版 ● 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「標準図・施工監理指針」平成28年度版 ● 電気設備技術基準最新年度版 ● 日本電気協会電気技術基準調査委員会「内線規定」平成28年度版 ● 建築設備設計・施工上の指導指針（住宅局）最新年度版							
		● 優先順位 工事施工に当たり、優先順位は、下記順位による。 ① 現場説明 2) 本特記仕様書 3) 本設計図 4) 標準仕様書							
		○ 本工事は、工事請負契約書および約款を尊重し、現場説明等、特記仕様書、設計図							
		② 施工標準図および「共通仕様書」により完全に施工する。							
		ⓐ 必要な係保装置への申請手続きは、すべて請負人が代行し、その費用も請負人の負担とする。							
		Ⓑ 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督員と打ち合わせの上、その指示に従い施工する。							
●	施工基準	(二) その他関係法規に基づき完全に施工する。							
		Ⓐ だれがびたみとなる福祉滋養のまちづくり条例に準拠し施工のこと。							
		・ 製本【A1表2つ折り2部】別文字表紙、製本【A3表2つ折り3部】別文字表紙							
●	竣工図	・ 電子媒体CD-R【DXF＋PDF 2枚】							
●	工事写真	工事写真に関しては、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」に準ずる。 工事完成後に見えない地中配設、コンクリート埋設、天井裏部分等の監督員指示箇所を撮影する。							
●	施工監理	国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「電気設備工事施工監理指針」平成28年度版による。							
●	技術管理	請負人は責任として建設法令に定める技術者の任命を行い、現場に派遣。（〇常駐 ● 非常駐） 技術管理にあたること、ともに全工事に支援できるよう施工する。資格の区分は、「I」とする。							
●	検査合格書	各試験を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書を提出する。 なお、責任施工のもの、材料製造者、施工下請業者、請負代表者連名書とする。							
●	産業廃棄物処理	請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準じ、適確に処理することとし、事前に監督員に処理計画を提出し、承諾を得ること。特別管理産業廃棄物（〇有 ● 無）							
●	保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、組立保険、第三者保険を工事事務的に付するものとする。 （●建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事）							
●	公害対策	工事着工前に付近の状況を調査し、公害対策は工事現場より講じること。							
●	機器材料	機器材料、製品等は特記されたもの、または同等品以上とし監督員の承認を受けること。							
●	統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者に、（●建築工事 ○ 電気設備工事 機械設備工事）の請負人を指名する。							
●	安全対策	工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。また近隣商家に振動、騒音等公害発生のおそれがある限り、工事全般に支障なきよう万全の策を講ずること。							
●	別途工事連絡協議	請負人は工事別の業者でお互いに連絡を取り、定期的に協議を行い工事進上の調整を図ること。また、工事区間の取り合いについて図面あるも施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。							
●	その他	着工に見応え焼付製本A11版2部、A33部（各2つ折り）提出のこと。							
○	入札図書	本工事先見積り用焼付読図図は、後日竣工図面とすると、青焼き図面は落札業者の負担とする。							
●	補正事項	1. 建築基準法施行令第129条の2の5、1項7号に該当する防火区画を貫通する管は貫通前後1mを不燃材料で作るか又は建設告示14.2.2号の基準によること。 この部分に用いる被覆材はフッ素樹脂保護管等可燃性のものを用いる。							
		2. 電線・ケーブルまたは可燃性の配管の防火区画貫通には、建築基準法令に適合する工法、又は国土交通大臣認定工法による。							
		3. 電気設備については、電気事業法の基準に適合する。							
		4. 建築設備の構成については、H12建替1388号に適合する。							
5. 消防設備等は、消防法第17条の基準により設置する。									

5)	一般事項
適用	適用事項
●	1) 本工事は、契約規則、建設業法、電気事業法、電気設備技術基準、有線電気通信法、N T T 技術基準電波法、有線テレビジョン放送法、消防法、建築基準法、労働安全衛生法等、関係諸法令を遵守し、施工すること。
●	2) 本工事に必要な仮電設、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで原則として請負人の負担とする。引渡し日までの本受電も同様とする。
●	3) 発生材の引、引き遣いを要する物は監督員の指示する場所へ整理の上、調査を添付し監督員に引き渡す。また、引き遣いを要しない物は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に準じ、適確に処理する。
●	4) 既設取外し再使用取付機器は、ワックス清掃および、絶縁塗布（必要に応じ本工事費内に改修）し、照明器具においては、ランプを新品に取替り替の上、取付のこと。
●	5) 設計図等は、工事の大事を示すものであり、着工前に施工図等を提出し、監督員の承認を受けること。尚、設計図面に明記なき事項で、技術上、美観上、また保安上当然必要と認められるものならびに、現場の納まり上必要な軽微な変更は、監督員と協議の上、指示により施工する。この場合、原則として工事費の増減は行わない。
●	6) 機器および、配管配線等は、地震時に水平移動、転倒、落下等が生じないよう、国土交通省住宅局建築指導課監修「建設設備耐震設計施工指針」による施工すること。
●	7) 工事着手前および、竣工引き渡し時は下記記載を提出すること。尚、部数及びサイズは監督員の指示による。
●	契約書 契約見積書 ● 施工図 ● 製作図 ● 施工計画書（要領書） ● 工事写真 ● 竣工写真 ● 竣工図 工事日報 ● 各種工程表 ● 保証書 ● 検査済書 ● 各種申請控 ● 機器取扱説明書 ● 備品および、備品リスト ● 検査測定表（接地抵抗、絶縁抵抗、照度測定 電界強度測定 各種機能検査表）
●	8) 本工事契約前に質疑事項等がなき場合は、法的および技術上において本設計図施工内容を承諾したものと見なし、各種の検査合格をもって引き渡し完了とする。
●	9) 本工事の工事区分は建築工事 工事区分表参照とする。

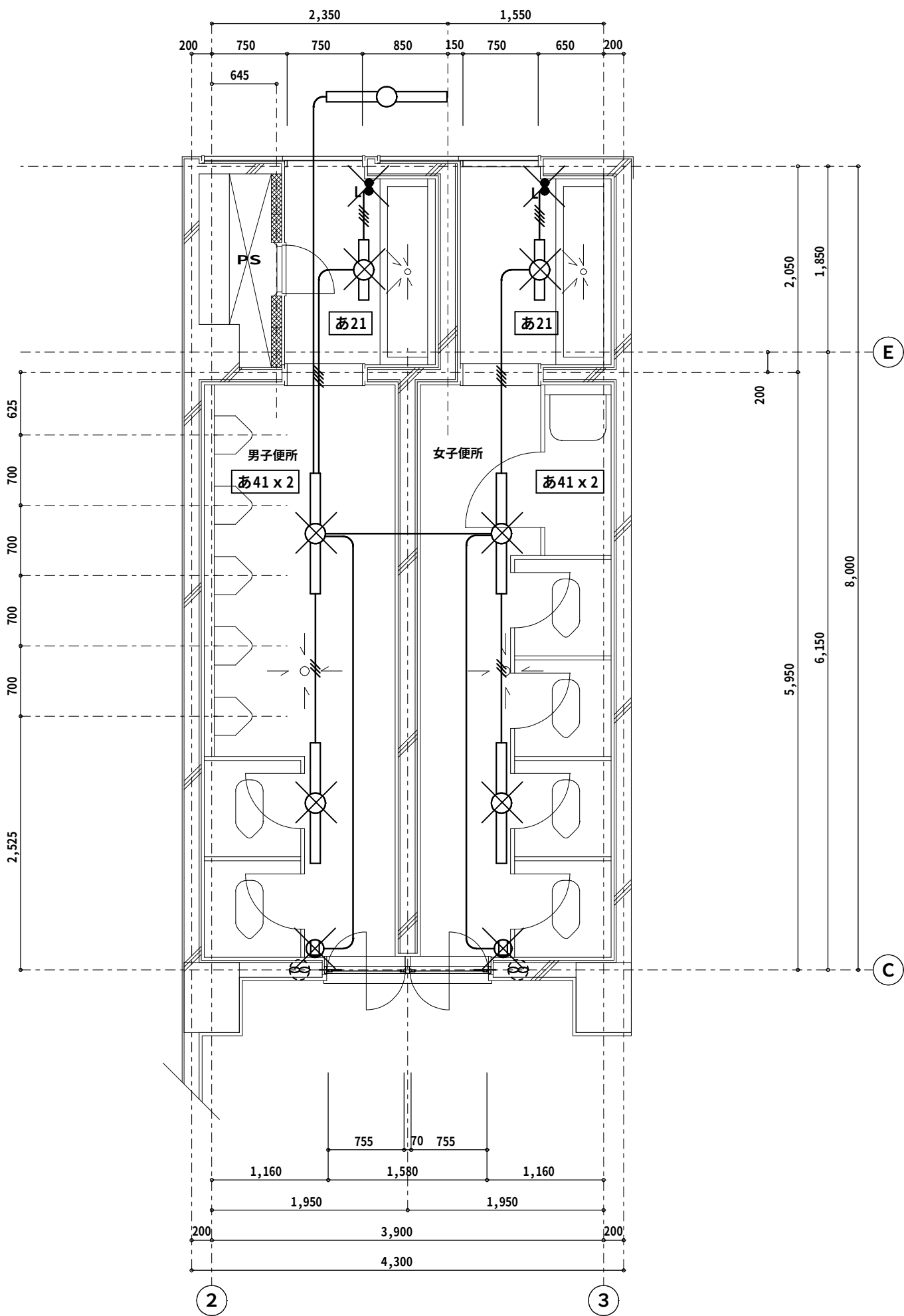
6)	特記事項
適用	適用事項
●	1) 配線の特記なきものは、600Vポリエチレン絶縁電線(IE)とする。
●	2) 配線の色分けは共通仕様とおりとし、ケーブルの場合は端末にて個別を施す。
●	3) 配管の特記なきものは、電線管（ ● P F C O C O P C P E ）とする。
●	4) 設計図中 P F 電線管は、合成樹脂製可とう管（● 一重管 ○ 二重管）難燃性自己消火型とする。
●	5) 長さ1m以上の入線しない空配管、予備配管にはビニル被覆鉄線1.6mm を入線し、名札を取り付ける。
○	6) 建築 E P F 部分および、電動機機器接続箇所へ使用する電線管は、電線管金属製2重可とう電線管とする。
○	7) 露出配管を行う場合は、施工前に素地こしらえ（エッチングプライマー等）と下塗りを行い、施工後仕上げ塗装を行う。なお、仕上げ塗装は、指定色 R P 2 塗りとする。
○	8) 図示しない隠り露出配管は、すべて F 7 項より、変更を行う。
○	9) E P S 内、共同内露出配管の塗装は（ ○ 要 ○ 否 ）とする。
●	10) 各種位置ボックスは（ ● 金属製 ● S U S 製 ）を使用する。
●	11) 金属製位置ボックス および、プルボックス 内部は、絶縁ワニス2回塗りとする。
○	12) 建物外壁面に埋設施工する各種位置ボックスは、結露対策を講ずること。
○	13) 地中埋設管路（ 高圧 低圧 弱電 ）には、GL-300mm の深さに埋設保護シートを布設する。
○	14) 地中線路には（ 樹脂製埋設表示板 埋設指示ピン ）を設ける。
○	15) マンホール、ハンドホール内にて、ケーブルの余長を見込む。
○	16) 接地線埋設付近に接地埋設管を取り付けること。
○	17) 建築工事に伴うスライローム等の打ち込みの箇所には原則として、コンクリート内埋設配管は行わない。
●	18) 既存のコンクリート床、壁等の貫通部の開閉は原則として、ダイヤモンドカッターによる。
●	19) 照明用スイッチで、1箇所に集合して取り付ける場合は監督員と協議し、本工事費内にネーム入りスイッチを取付ること。
●	20) 照明器具は（○ 一般型 ● 公共施設型）および、（● L E D 型） ○ インバーター始動型 ○ 省エネ型）とする。（ただし、製品および、公共施設にない物は除く）
●	21) 配線器具は、J I S 大角型（白色）とする。
●	22) 配線器具プレートは、（ ● 新金属（共用）○ ステンレス ○ 樹脂モダンプレート ）
○	23) 本工事費内に、（○ 工事着工前 ○ 工事竣工時）に（ ○ 受点 ○ 協議による 箇所）のテレビ電界強度測定を行う。
●	24) 当該工事に、おいて、既設配管、既設埋設配管、機器等があった場合 監督員の指示により、本工事費内で近隣の工事を行う。また、撤去工事を行う場合は既設設備調査確認の上、既設に支障なきよう処理する。
●	25) 屋外および、外壁面施工による各種配管支持材は、ステンレス製または、溶融亜鉛メッキ仕様とする。
○	26) 二重天井内ケーブル配線の場合は、カラーケーブルによる色分けを行い、色種については、非常用（赤）とすることで、その他については監督員と協議の上決定とする。
●	27) 二重天井内ケーブル工事に、おいても、貫通部、防火壁、壁内は適合電線管にて保護すること。
●	28) ケブル配線の位置ボックスは、適合するアワートレボックス等 を 設けること。 ただし、照明器具が回り場子付（定格電圧 15A 以上）および、末端器具については不要とする。
●	29) 振動の発生による機器には、すべて防振緩衝材等を取り付ける措置 を すること。
●	30) ハンドホール、プルボックス、壁内の電線、ケーブルには先行、用途 サイズ等を明記した名称札を取り付けること。なお、名称札材質および、記入方法は監督員の 指示によること。
●	31) 使用電線、電球、LED 等の 10% 以上、および、監督員の指示によるものを予備品として納入すること。
●	32) L E D 灯、H I D 灯、その他対地電圧 150V を、こえる器具および水器具等には、1 階地下地事を施すこと。なお、接地線は 1.6 mm 以上とする。
●	33) 電線導管配管工事（○ 本工事 ○ 別注工事 ○ 工事期間中別途発注 ）とする。
●	34) 建設工事における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する速報制度」の徹底について） ① 請負者（請負主または受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他市法・工事に對して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 ② 請負者は、事項について通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。また、担当者、以上のことについて、下請負人に対して十分に指導を行うものとする。 ③ 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたこと明らかにあり、工程等に被害が及んだ場合は、監督職員と協議するものとする。

35) はつり工事について追記	①	はつり等が発生する配管配線の損傷・破損は速やかに報告のうえ無償にて復旧をすることとし、 建物ははつり工事をよく把握のうえ防止に努める事。
	②	建物ははつりにて既設配線との接続に支障が発生しないよう、打合せと確認・及びその確保に努め 変更が発生しないようにする事。
	③	はつり工事の際に壁はしき箇所は、電磁誘導による鉄筋内部鉄筋探査のうえ、鉄筋を切断しないように努める事。
	④	配管貫通工事の際にS線による躯体探査のうえ、設備配管等を切断しないように努める事。
	●	36) 下請業者の選定
①	本町発注の建設工事等の施工に当たり下請契約する場合には、できる限り同町に本店を有する業者へ発注するよう努める事。 その場合、適正な価格で請け渡す下請代金は適正な期間内に支払うこと等、下請契約及び下請代金支払いの適正化に努める事。	
	② 工事施工に必要な建設用資材や建設機械を購入、又は借入する場合は、極力地場調達するなど、施工にあたっての配慮をすること。	

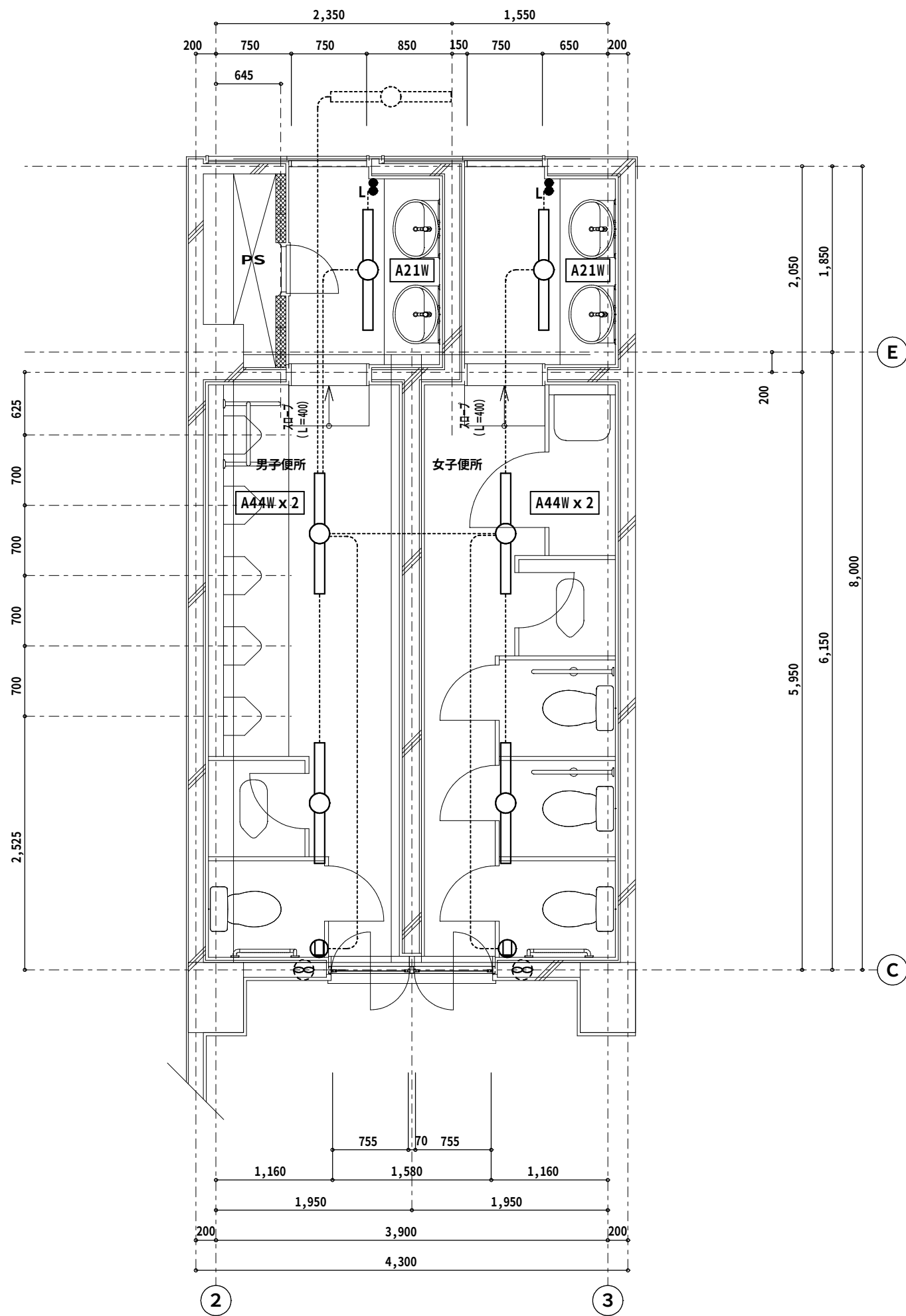
7) 工事範囲		
○ 受変電設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	引込方法	3 φ 3 W 6 6 0 0 V 6 0 H z ○ 架空 ○ 地中
	区 分	○ 電力会社 ○ 自家用
	型 式	○ オープンフレーム ○ キュービクル ○ 屋内 ○ 屋外
○ 自家発電設備	工事範囲	機器設置調整及び検査
	型式	○ 水道冷却方式 ○ ラジエータ冷却方式 ○ 屋内 ○ 屋外 ○ 据置 ○ キュービクル式 ○ 標準型 ○ 低騒音型 ○ 超低騒音型
○ 電灯動力幹線設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	電気方式	○ 1 φ 3 W 2 1 0 - 1 0 5 V 6 0 H z ○ 3 φ 3 W 2 1 0 V 6 0 H z ○ 深夜 3 φ 3 W 2 1 0 V 6 0 H z
	備 考	
○ 動力設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	監視制御	○ 警報盤 ○ 中央監視盤 ○ 現場盤による操作 ○ 中央監視盤による操作
	備 考	
● 電灯コンセント設備	工事範囲	● 配管 ● 配線 ● 機器取付 ● 撤去
	配線器具	● 大角型 ○ ワイドシリーズ プレート ● 新金属 ○ ステンレス ○ ワイドシリーズ
	照明器具	○ 一般型 ● L E D 省電力型
○ 電話設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	引込方法	○ 架空 ○ 地中
	回線数	○ 最大ポート数 回線○局線最大 回線 ○ 内線最大 回線
	方 式	○ I P 電話 ○ 電子錠
	電話器	○ 卓上 ○ 壁掛 ○ コードレス ○ P H S
	付属機能	○ 録音機能 ○ 停電対応 ○ ナンバーディスプレイ ○ モニターカメラ ○ ドアホン通話
○ 拡声設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	増幅器	○ 業務用 ○ 非常用 ○ 兼用型
	付属機器	○ マイク ○ C D ○ M D ○ ワイヤレス ○ その他 ()
○ インターホン設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	種 別	○ 住宅用 ○ 業務用 ○ 集合住宅 ○ I P インカム
	通話方式	○ 交互通話 ○ 自動交互通話 ○ 同時通話
	付属機能	○ 電気錠解錠 ○ ガス漏れ警報 ○ 非常押印 ○ 火災報知 ○ モニターカメラ ○ ページング ○ 外線転送
○ テレビ共聴設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	アンテナ	○ V H F ○ U H F ○ F M ○ A M ○ B S / C S ○ C A T V ○ 自立型 ○ 側面取付型 ○ ボール取付型
	受 口	直列ユニット 7 5 m m × 1 (仕様は配線器具に準ずる)
○ トイレ呼出設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付
	呼出装置	○ 露出型 ○ 埋込型 ○ ラック収納型
	付属機器	○ 呼出ボタン ○ 復旧ボタン ○ 廊下灯 ○ その他 ()
○ 電気時計設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	子時計	○ 壁掛型電気式 ○ 屋外型電気式 ○ 埋込式
	関連機能	○ プログラムタイマー ○ パルス発生器
○ 自動火災報知設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	受信機	P 型 級自火報 回線 ○ 壁掛型 ○ 自立型 ○ 複合型
	発信機	○ 単体取付 ○ 総合盤 ○ 消火栓組込
	備 考	
○ 防火戸自閉設備	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付 ○ 撤去
	制御盤	回線 ○ 壁掛型 ○ 自立型 ○ 複合型
	閉鎖装置	○ 防火戸用 ○ 防火シャッター用

[illegible]

工事番号・工事名 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		9 相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日 平成29年10月	
電気設備工事特記仕様書									
株式会社 日匠設計				管理建築士 澤田 耕一		校医 杉本 孝良		作図 大久保 晴二	
大坂本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-6931 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166				一級建築士 198531号 澤田 耕一 一級建築士 198525号 杉本 孝良		縮尺 (A1)		縮尺 (A3)	
						no, scale		E-1	



現況2・3階平面詳細図 1：50

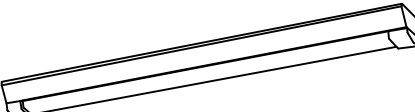


改修2・3階平面詳細図 1：50

【特記事項】	
特記なき配管配線は下記の通りとする	
———	IV1.6 x2 (E19)
———	IV1.6 x3 (E19)
———	IV1.6 x4 (E25)
【凡 例】	
×	撤去処分を示す。

脱着及び撤去照明器具リスト		
あ21S	直付富士型	FL20W x 1
あ41S	直付富士型	FLR40W x 1

凡 例	 既存配管配線
-----	--------------

A 2 1 W	iDシリーズ直付40形 Dスタイル 防湿防雨型 W150 3200lmタイプ
A 4 4 W	iDシリーズ直付40形 Dスタイル 防湿防雨型 W150 6900lmタイプ
 定標出力型、電圧100～242V 本体：ステンレス（亜鉛めっき防錆処理） 防湿型・防雨型タイプ（2タイプ）：ポリカーボネート（PC） 消費電力：4000W 寿命：8000時間 R&B、IP23防湿型 LSS9MP/RP-3000LMLE9 LSS9MP/RP-6450LMLE9	

工事番号・工事名 9相連教1624号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事（笠置小学校第1期）		P-17519	図面の名称 現況・改修 電灯設備2、3階平面詳細図		作成年月日 平成29年10月
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阪保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理建築士 澤田 耕一	検図 杉本 孝良	作図 大久保 晴二	縮尺 (A1) 縮尺 (A3) 図面番号 1：50 1：100 E-2

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書	
A) 工事概要	
工事名称	相模東部広域連合立小中学校トイレ改修工事(笠置小学校第1期)
工事場所	京都府相模郡笠置町大字笠置地内
建物構造	☐ 一般建築物 ☐ 準耐火建築物 ☐ 耐火建築物
建物用途	建築基準法(一) 消防法(一)
用途地域	都市計画地域外
工事期間	

B) 建物概要					※ 建築工事特記仕様書参照				
No	名 称	構造	階数 地上・地下	延面積 m ²	No	名 称	構造	階数 地上・地下	延面積 m ²
1			/		7			/	
2			/		8			/	
3			/		9			/	
4			/					/	
5			/					/	
6			/					/	
合 計		m ²							

C) 工事種目													
摘要	No	工事種目	新設	増設	改修	撤去	摘要	No	工事種目	新設	仮設	改修	撤去
	●	1 給水設備	●	○	○	●		○	8 空調機器設備	○	○	○	○
	●	2 排水通気設備	●	○	○	●		○	9 空調配管設備	○	○	○	○
	●	3 衛生器具設備	●	○	○	●		○	10 空調ダクト設備	○	○	○	○
	○	4 ガス設備	○	○	○	○		○	11 放射冷暖房設備	○	○	○	○
	○	5 給湯設備	○	○	○	○		●	12 換気設備	●	○	○	●
	○	6 消火設備	○	○	○	○		○	13 消火器設備	○	○	○	○
	○	7 L床浄化槽設備	L	○	○	○		○	14 溜水設備	○	○	○	○

D) 共通事項	
● 適用	本共通事項及び特記事項については、●印のついたものを本工事に適用する。
● 監督員	監督員とは、工事請負契約書に規定する監督員をいう。
● 共通仕様書	● 国土交通大臣官庁官庁管轄部監修工事標準仕様書(以下「様式」という)(最新版) ● 同様標準(最新版) ● 改訂工事標準仕様書(最新版) ● 建設設備施工上の指導指針及びその他の関係法規に基づき完全に施工する。
● 関連法規	本工事は、契約規則、建築業法、建築基準法、消防法及び労働安全衛生法等関係諸法令を遵守し施工する。
● 優先順位	本工事施工に当たり、優先順位は下記順位による。 Ⅰ. 現況説明書 2. 質疑回答書 3. 特記仕様書 4. 本設計図書 5. 共通仕様書 イ. 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面、標準圖及び共仕により完全に施工する。また、本工事契約前の質疑回答以外の事項については、法的及び技術上において本設計図書で内容を承諾したものとし、全ての検査合格までの責任をもちて施工する。 ロ. 必要の関係諸官庁への申請手続きは、全請負人が代行し、その費用も請負人の負担とする。 ハ. 各市町村の上下水道条例の摘要を受ける場合はこれに従って施工する。
● 施工基準	二. 本設計図書は、工事の大要を示すものであるから、着工前に施工図等を提出し、詳細位置等については監督員の承諾を受けると。 ホ. 本設計図面に明記なき事項で、技術上、美观上、または保安上当然必要と認められるもの並びに現場の納まりに必要な軽微な変更は、監督員と協議の上その指示により施工する。この場合 原則として、工事の増減は行わない。 ニ. 長寿社会福祉住宅設計マニュアルに準拠し施工すること。(建設省住宅局住宅整備課監修) 請負人は専断して建築業法に定める機器者の任命を行い、現場に派遣しない(○常駐しない)
● 技術管理	技術管理にあたると共に建築主工事、電気設備工事、その他関連工事について、その施工者と密なる連絡を取り全工事に支障なきよう施工する。● 主任技術者は1級管工事施工管理技士とする。
● 提出書類	1. 施工計画書 2. 下請業者リスト 3. メーカーリスト 4. 機器承諾函 5. 施工図 6. 各種工程表 7. 日報 8. 自主検査成績表 9. その他必要書類 10. 製作用
● 機器材料等	機器材料、製品等は特記されたもの、又は同等品とし且監督員の承諾を受ける事。 又工場製作機器類においては、その工場での立会検査を行う場がある。
● 仮設工事	本工事に必要な仮設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料 等は引渡しの日まで原則として請負人の負担とする。
● 建築工事との取合い	着工前に施工図を作成し、建築工事、電気設備工事担当者と協議し承認の上監督員の承諾を得るものとす。
○ 既設再使用品	工事写真に関しては、●写真撮影は、建設大臣官庁官庁管轄部監修[工事写真の持ち方] ●工事完成後に見えない地中埋設、コンクリート埋設、天井裏部分等を監督員の指示箇所をかり 撮ら影機による。 既設物外へ再使用機器は、機器性能を確認の上、整備(必要最小限の配管、配線、塗装等のやり替え)をし、再使用する。
● 耐震施工	機器の据付、配管等の支持については、地震力を考慮し、[建築物耐震設計施工指針]を参考とする。
● 別途工事の連絡協議	請負人は工事別の業者でお互いに連絡をとり、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図る事。 又工事区分の取り合いについて図示あるも施工時に必要に応じ協議を行い連携を密にすること。 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所へ整理の上調書を添えて監督員に引渡す。 又、引渡しを要しないものを「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、建設副産物適正処理推進要綱等に準じ適確に処理するとし、事前に監督員に施工計画書を提出し承諾を得る事。 特別管理産業廃棄物(有・無)
● 産業廃棄物の処理	
● 公害対策	工事着工前に付近の状況を調査し、公害対策には事故工まで講じる事。
● 統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生安全管理義務者には、○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事 の請負人を指名する。 工事車両の出入りについては、危険防止に努める事。また必要に応じて交通安全警備員を配置するとともに近隣
● 安全対策	家屋に騒音、振動等の公害を生じないよう留意し、工事全般に支障なきよう万全の策を講じることに。 また施設運営についても監督員と協議し、支障なく工事実施する。
○ 保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、組立保険、第三者保険按工事目的物を付与のとす。
● 試運転調整	工事完成後、監督者の指示により各機器の試運転調整及び総合的な試験を行う。
● 竣工引継	本工事竣工時に諸公府の竣工検査及び監督者、施主の検査に合格して竣工とし引渡めものとす。
● 竣工提出図書	1. 竣工図 2. 竣工写真 3. 機器取扱説明書 4. 機器保証書 5. 各種申請許可書 6. 各種自主検査記録 7. 備品及び備品リスト 8. 検査済証 9. 建築特記仕様書による
● 竣工図	

	責任施工保証書	責任施工の保証は材料製造所、施工下請業者、請負契約者連名書の合格書又は保証書に提出する。		
●	取扱説明	本工事完了後引継ぎまでの間に保守保安担当者へ各機器の取扱説明を行うこと。		
●	工事保証	竣工引渡後、契約保証期間内において、施工上の欠陥或いは使用材料の不備により生じた破損又は故障箇所は、直ちに無償にて修理する。		
○	隣接施設について			
○	提出図面			
○	省エネ			
E) 工事範囲				
	種 目	適 用	特 記 事 項	
給 水 設 備	1	● 工事範囲	本工事は下記の事項に従って給水栓に至るまでの配管、機器及び器具取付工事の一切を施工する。	
	● 水 源	● 上水道		
	● 給水方式	○ 直圧式 ○ 加圧式 ● 重力式 ○ 既設管分岐延長		
	○ 引込工事	○ 本工事 ○ 別途工事 親メーター(○貸与○買取) 子メーター(○貸与○本工事)		
	○ 負担/加入金等	○ 本工事 ○ 別途工事		
	○ 受水槽	()製・容量(m ³) 耐震 1.0G ○ ポンプ室付		
	○ 高架水槽	()製・容量(m ³) 耐震 1.0G		
	● 配管材料	屋外埋設： ○ 硬質塩化ビニル管 HVP (JIS K 6742) ○ ビニールライニング鋼管 VD (JWWA K 116) ○ 鉄鉄管 (JIS G 5525)		
	JIS 規格品	屋外架空： ○ ビニールライニング鋼管 VA (JWWA K 116) ○ 粉体ライニング鋼管 PB (JWWA K 132)		
	JWWA 規格品	○ ステンレス鋼管 (JIS G 3448-SUS304)		
	SHASE規格品	屋内埋設： ○ 硬質塩化ビニル管 HVP (JIS K 6742) ○ ビニールライニング鋼管 VD (JWWA K 116) ○ 粉体ライニング鋼管 PD (JWWA K 116) ○ 排水用鉛管 (SHASE-S 203)		
		屋内架空： ● ビニールライニング鋼管 VA (JWWA K 116) ○ 粉体ライニング鋼管 PB (JWWA K 132) ○ ステンレス鋼管 (JIS G 3448-SUS304)		
	● 継手・弁類	青銅製バルブ (JIS B 2011) 鉄製バルブ (JIS B 2031) 青銅製コア付バルブ (JV5-1, JV5-2) ステンレス製バルブ (JV8-1, JV8-2)		
	JIS 規格品	ライニング鋼管には管端防食継手 (埋設部は外面樹脂被覆型) を使用。		
	JWWA 規格品	ライニング鋼管に使用する50A以下の弁は管端コア付弁、65A以上はライニング 弁とする。		
SHASE規格品	上水道直圧部 JIS 10 Kg/cm ² その他 JIS 5 Kg/cm ² とする。			
● 各種試験	● 区間水圧試験 ○ 飲料水適性試験を行う。() 箇所			
● その他	給水装置の構造及び材質については、水道法施行令第5条の基準に適合する事。 給水配管の接合剤は、上水道用接合剤とする。 配管材料及び施工方法は市の規格等に合ったものを使用する事			
排 水 通 気 設 備	2	● 工事範囲	本工事は下記の事項に従って排水器具取付、配管工事を行い公共場までの一切を施工する。	
	● 排水種類	● 汚 水 ● 雑排水 ○ 雨 水		
	● 排水方式	○ 単独式 ○ 合流式 ● 屋内分流屋外合流式		
	● 放 流 先	○ 公共下水道 ○ 排水処理槽 側溝・水路 ● 既設管 ○ その他		
	○ 通気方式	○ 伸張通気 ○ ループ通気		
	● 配管材料	屋外埋設： ○ 硬質塩化ビニル管 VU (JIS K6741) ○ 卵形管 (EGP) ○ ヒューム管 (HP)		
	JIS 規格品	屋外架空： ○ 硬質塩化ビニル管 VP (JIS K6741)		
	JWWA 規格品	屋内埋設： ○ 硬質塩化ビニル管 VP (JIS K6741) ○ 排水用ビニールライニング鋼管 (DVLP) ○ ステンレス鋼管 (高温水)		
		屋内架空： ● 硬質塩化ビニル管 VP (JIS K6741) ○ 排水用ビニールライニング鋼管 (DVLP) ○ 排水用鉄鉄管 (CIP) ○ 石綿2層管 (TMP) ○ 耐熱塩化ビニル管 (HT)		
		PS配管： ○ 耐火パイプ ○ 排水用鉄鉄管 (CIP)		
	○ 排水樹材料	○ 現場打ち ○ 住宅公団型 ○ コンクリート製既製品 ○ 樹脂製既製品		
	○ ポンプ槽	○ PC製 (樹脂製ポンプ)		
	○ 各種試験	○ 通水試験 ○ 満水試験 ○ 煙試験		
	● その他	排水設備の設置及び構造については、下水道法施行令第8条の基準に適合する事。 曲がり部は大曲がりエルボを使用し排水の流通をよくする。 3階以上の建物に關する排水管には、各階毎に満水試験継手を設ける。 居室の天井、壁を通る排水管で排水音の発生する恐れのある箇所に は防音シート巻き を 施す。 コンクリート製会所、汚水槽、浄化槽との硬質塩化ビニル管の接続部は、砂かけ 加工 の 工場 製品を使用し漏水防止を図る。 配管材料及び施工方法は市の規格等に合ったものを使用する事		
	衛 生 器 具 設 備	3	● 工事範囲	本工事は衛生器具表及び下記の事項に従って衛生器具の供給、取付工事を行なう一切を施工する。
● 衛生器具		大便器洗浄方式は ● フラッシュ (FV) 弁 (ハキュームブレーカー付) 式 ○ ロータンク式 ○ 身障用FV弁 (○ 壁及び足踏み式 ○ 光電式) 小便器洗浄方式は ○ 押引FV式 ● 電子式 ○ ハイタンク (○ 洗浄管露出 ○ 同左埋込) 式 水栓類は節水コマ付き、フラッシュバルブは節水型とする。なお管末屋外水栓は 凍 結防止水栓 とする。		
○ その他				
ガ ス 設 備	4	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従ってガス配管、機器及び器具の供給、取付工事を行ないガス 器具へのガス供給までの一切を施工する。	
	○ ガスの種別	○ 都市ガス ○ プロパンガス		
	○ 負担金等	○ 要 ○ 不要		
	○ エ 法	○ ネジ込エ法 ○ SGM工法		
	○ 配管材料	屋外埋設： ○ ポリエチレン被覆鋼管 (PLS) ○ ガス用ポリエチレン管 ○ 大阪ガスの仕様 屋外架空： ○ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-B) ○ 大阪ガスの仕様 屋内埋設： ○ ポリエチレン被覆鋼管 (PLS) ○ 塩ビ外面被覆鋼管 (VS) ○ 大阪ガスの仕様 屋内架空： ○ 配管用炭素鋼鋼管 (SGP-B) ○ ガス用ポリエチレン管 ○ 大阪ガスの仕様		
	○ 使用機材	都市ガスの場合は供給会社の認定品 コック類は逆流防止装置付 湯沸器の接続は可とう管及び可とう管コックとする。 気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。		
	○ 試 験	本工事はガス事業法または、高圧ガス取締法に準じて施工を行う。液化石油ガスの各種検査は、供給者又はLPガス保安センターの検査を受け合格すること。 プロパンガス設備工事の施工者は、特定液化石油ガス設備工事業業者であり、作業者は液化石油ガス設備士とする。		
	○ その他			

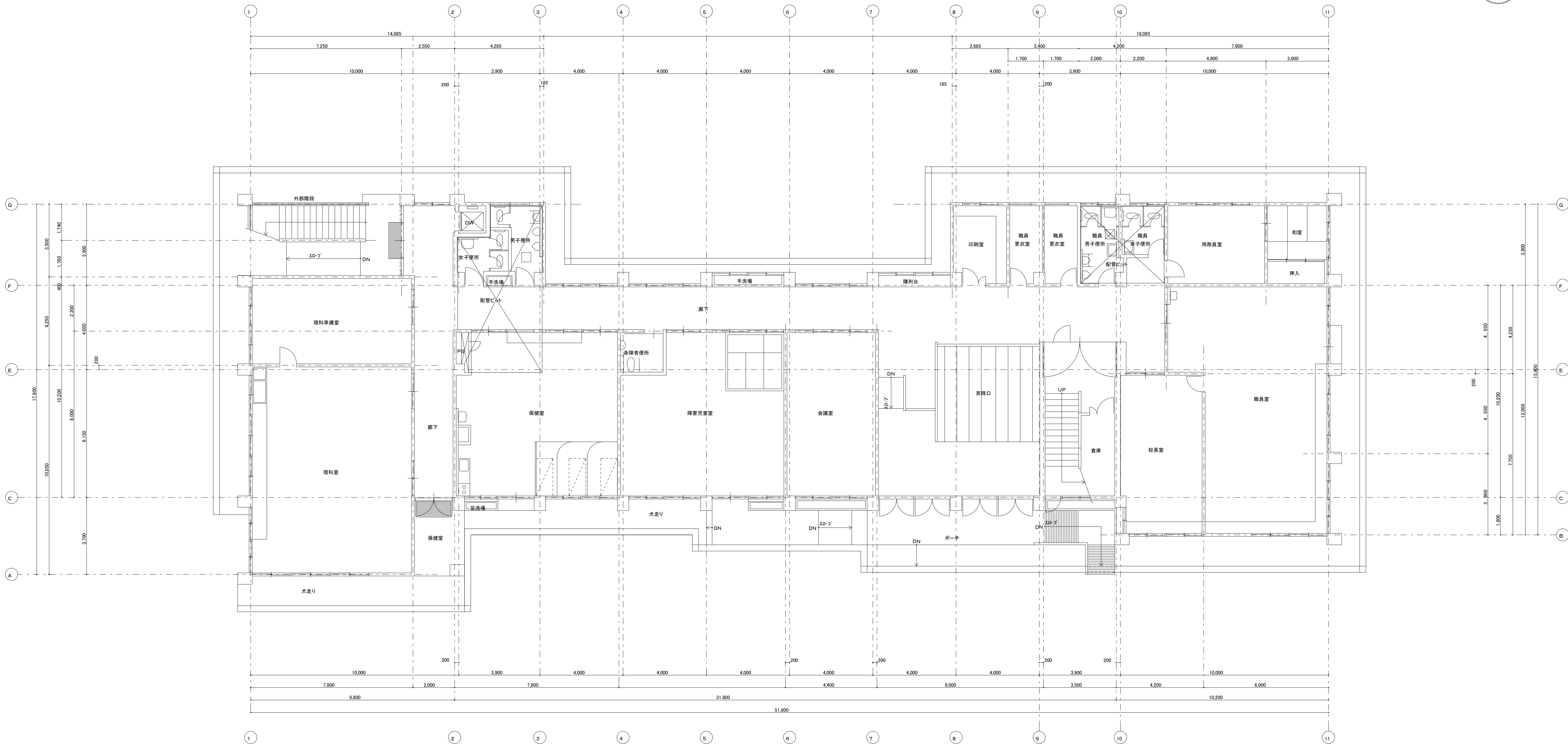
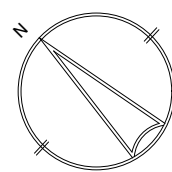
種目	適用	項目	特記事項																				
給湯設備	5	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従って給湯栓に至るまでの配管、機器及び器具取付工事の一切を施工する。																				
	○ 方式	○ 個別(局所)方式 ○ 中央方式 ○ 中央個別方式																					
	○ 給湯機器	○ 瞬間湯沸器 ○ 給湯機 ○ 電気温水器 ○ 業務用エコキュート																					
	○ 熱 源	○ 都市ガス ○ プロパンガス ○ 灯油 ○ A重油 ○ 電気																					
	○ 貯 湯 槽	○ クラッド鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 ○ 鋼板製内部ライニング加工																					
	○ 防 食	○ 防食 (○ 外部電源方式 ○ 電流陽極方式)																					
	○ 鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 ○ 耐熱樹脂製																						
	○ 膨張水槽等	○ 密閉式																					
	○ その他																						
	○ 配管材料	○ 防食 (○ 亜鉛アルミニウム合金溶射 ○ エポキシ樹脂ライニング) ○ 脱酸銅管(M) ○ 保温材(20t)付金属強化ポリエチレン管 ○ 鋼板製(φ) ○ ステンレス製(φ) ○ 亜鉛鍍鉄板製(φ)																					
	○ 煙道材料	湯沸器排気筒は厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。 付属設備 排煙濃度計(○ 設ける ○ 設けない)																					
	○ その他	配管には空気漏まりのないように施工し、図示以外で施工上必要な箇所には空気めき弁を取り付ける。 配管の膨張伸縮の逃がしが必要な箇所には伸縮継手を取り付けたこと。																					
消火設備	6	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従って機器取付工事の一切を施工する。																				
	○ 方式	○ パッケージ型消火設備 ○ 屋内消火栓 ○ 泡消火栓 ○ スプリンクラー																					
	○ 消火栓形式	○ 連絡送水管 ○ 水噴霧消火 ○ 粉末消火 ○ 連絡放水 ○ 埋込型 ○ 露出型 ○ 自火報知込型 ○ 連絡送水口組込型																					
	○ 消火栓ポンプ形式	○ 易操作性1号 ○ 消火器格納箱付消火栓格納箱 ○ ユニット ○ 単体 ○ 呼水タンク付 ○ 制御盤付																					
	○ 配管材料	屋外埋設: ○ ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) ○ 塩ビ外面被覆鋼管(VS) 屋外架空: ○ 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) ○ 配管用炭素鋼管(SGP-B) 屋内埋設: ○ ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) ○ 塩ビ外面被覆鋼管(VS) 屋内架空: ○ 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) ○ 配管用炭素鋼管(SGP-B)																					
	○ 各種試験	○ 区間水圧試験 ○ 放水水圧試験 ○ ポンプ遠方起動試験																					
	○ その他	所轄消防署と充分協議のうえ、法的に支障のないよう施工を行う。 凍結(屋外等)の恐れがある箇所においては保温を行う。 屋内消火栓箱には消火ポンプ運転表示灯を取付けのこと。																					
	し原 浄 化 槽 設 備	7	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管、機器取付工事の一切を施工する。																			
		○ 浄化槽種類	○ 単独浄化槽 ○ 合併浄化槽 ○ 小規模合併浄化槽																				
		○ 材 質	○ FRP製 ○ コンクリート製 (○ 全て本工事 ○ 躯体のみ建築工事)																				
		○ 構造・材質	○ 地下式 ○ 半地下式 ○ 地上式 ○ ユニット型																				
		○ 処理能力	人槽(m ³ /日)																				
○ 処理方式		○ 接触ばっ気 ○ 長時間ばっ気 ○ 沈澱分離ばっ気 ○ 分離接触ばっ気 ○ 嫌気床接触ばっ気 ○ 分離ばっ気 ○ 現場施工型																					
○ 処理水質		BOD(ppm) COD(ppm) N(ppm) P(ppm)																					
○ 山 止 め		○ 不要 ○ 要 (○ 簡易矢板 ○ 木製矢板 ○ 鋼矢板)																					
○ 放 流 先		○ 敷地内排水樹 ○ 河川																					
○ その他		○ 詳細図は別紙図面参照のこと。 ○ 本体保護用コンクリートスラブ及び支柱 ○ 制御盤及び2次側電気配管配線工事 ○ プロー用配管 ○ プローポンプ基礎及び保護カバー																					
空調 機 器 設 備		8	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管、機器取付工事の一切を施工する。																			
		○ 方 式	○ 中央方式 ○ 個別方式 ○ 中央・個別方式 ○ マルチ方式																				
	○ 熱 源	○ 都市ガス ○ プロパンガス ○ 灯油 ○ A重油 ○ 電気																					
	○ 熱源機器	○ 吸収式冷水温水機 ○ 水冷式チリングユニット ○ 空冷式チリングユニット ○ 温水ボイラー ○ 蒸気ボイラー ○ ヒートポンプチャラー																					
	○ 空気調和機	○ ファンコイル ○ ファンコンベクター ○ ガスヒートポンプエアコン ○ コンベクター ○ ヒートポンプエアコン ○ エアヒーター ○ 温風暖房機																					
	○ 設計温度湿度条件	<table><tr><th>場所</th><th colspan="2">屋 外</th><th colspan="2">屋 内</th></tr><tr><th>時期</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th><th>温度(DB)</th><th>湿度(RH)</th></tr><tr><td>夏期</td><td>33.3℃</td><td>59.9%</td><td>26℃</td><td>50%</td></tr><tr><td>冬期</td><td>-2.1℃</td><td>71.1%</td><td>22℃</td><td>50%</td></tr></table>	場所	屋 外		屋 内		時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏期	33.3℃	59.9%	26℃	50%	冬期	-2.1℃	71.1%	22℃	50%	
	場所	屋 外		屋 内																			
	時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																		
	夏期	33.3℃	59.9%	26℃	50%																		
	冬期	-2.1℃	71.1%	22℃	50%																		
	○ 付属機器	○ 感震器 ○ 膨張水槽 ○ 密閉式膨張タンク ○ クッションタンク ○ 外機防雪フード ○ 防霜置架台 ○ 防振架台(○ OS式メーカー指定品)																					
	空調 配 管 設 備	9	○ 工事範囲	本工事は下記の事項に従って配管工事の一切を施工する。																			
○ 配管材料		冷水水管: ○ ステンレス鋼管 ○ スーパーエスロメタックス(50A以下) 冷却水管: ○ ビニールライニング鋼管(VA) ○ 耐衝撃性硬化塩化ビニール管(HVPP) 冷媒管: ○ 冷媒用被覆鋼管 排水 管: ○ 硬質塩化ビニール管(VP) ○ 配管用炭素鋼管(SGP-B) 膨 張 管: ○ 水道用亜鉛鍍鋼管(SGPW) ○ 耐熱性ビニールライニング鋼管(HTLP) 蒸 気 管: ○ 配管用炭素鋼管(SGP-A) ○ 圧力配管用炭素鋼管(SCH40 HTLP)																					
○ その他		必要な箇所には自動空気抜き、温度計、圧力計、パイプ弁等を取付ける。 配管の膨張伸縮の逃がしが必要な箇所には伸縮継手を取り付けたこと。 配管には空気漏まりのないように施工し、図示以外で施工上必要な箇所には空気めき弁を取り付ける。																					

[illegible]

	工事番号・工事名 9相連教1624号 P-17519 相築東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)		図面の名称 機械設備工事特記仕様書(1)		作成年月日 平成29年10月
	株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 総建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖西市中央2丁目5-6 総建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理建築士 澤田 耕一 換気 杉本 孝良 作図 大久保 晴二		縮尺(A1) 縮尺(A3) 図面番号 M-O1

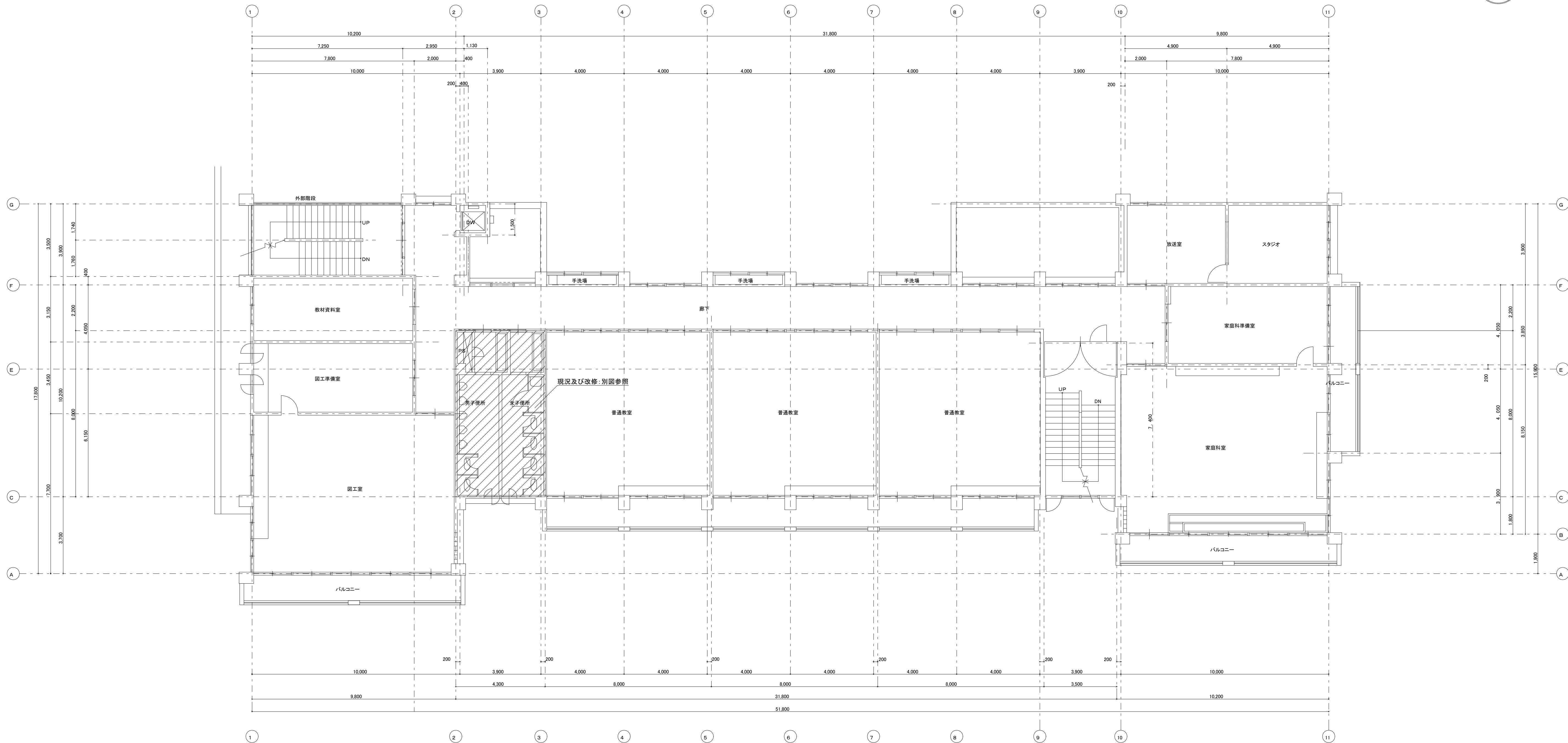
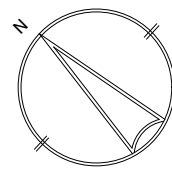


					工事番号・工事名		9相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日	
					相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事						配置図		平成29年10月	
					株式会社 日匠設計		管理建築士 澤田 耕一 棟図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二				縮尺(A1)		図面番号	
					大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号級建築士 198531号澤田 耕一						1:300		M-03	
					TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931						1:600			
					滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号杉本 孝良									
					TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166									



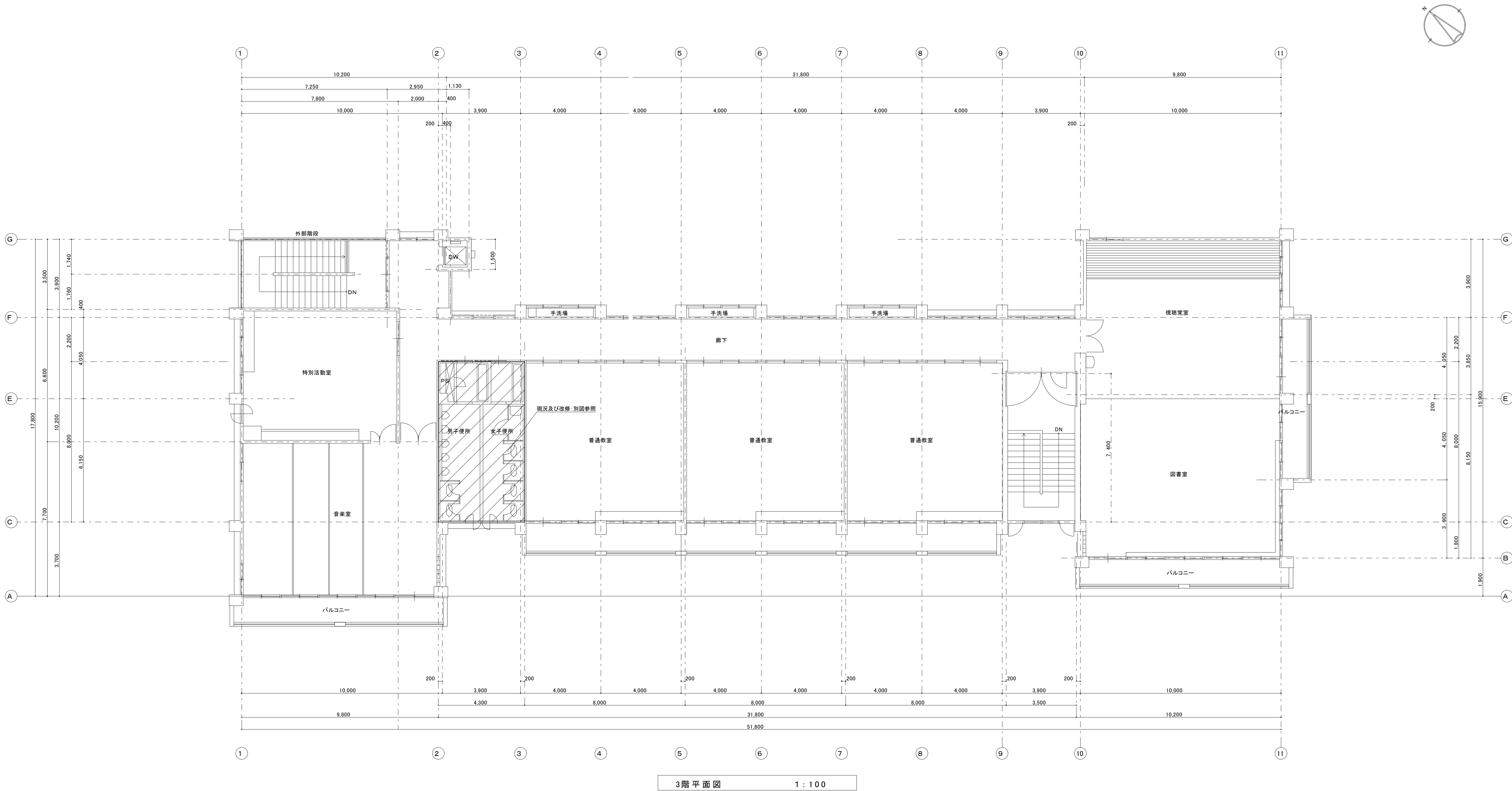
1 階平面図 1: 100

工事番号・工事名 9相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日	
相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)				現況1階平面図		平成29年10月	
株式会社 日匠設計		管理建築士	澤田 耕一	検図	杉本 孝良	作図	大久保 晴二
大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166						縮尺(A1)	縮尺(A3)
						1:100	1:200
							図面番号
							M-04

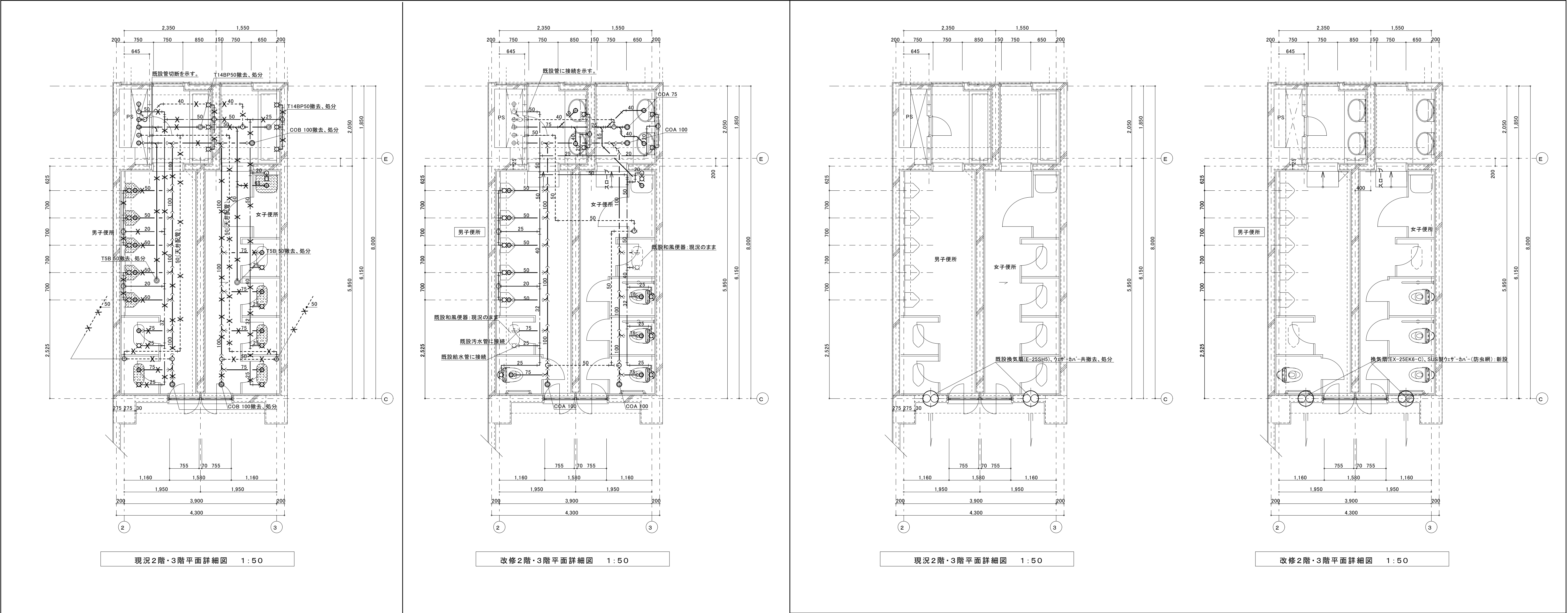


2 階平面図 1: 100

工事番号・工事名 9相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日	
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)				現況2階平面図		平成29年10月	
株式会社 日匠設計		管理建築士	澤田 耕一	検図	杉本 孝良	作図	大久保 晴二
大阪本社 大阪府松原市同保1丁目3番12号 級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166						縮尺(A1)	縮尺(A3)
						1:100	1:200
							図面番号
							M-05



工事番号・工事名		9相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日	
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事		(笠置小学校第1期)				現況3階平面図		平成29年10月	
株式会社 日匠設計		管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二				縮尺(A1)		縮尺(A3)	図面番号
大坂本社 大坂府松原市同保1丁目3番12号 級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166						1:100		1:200	M-06



凡 例	
	撤去器具を示す。
	撤去配管を示す。
注記) 新規の梁貫通は、不可とする。 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。 配管改修に伴う壁、床貫通、補修は本工事とする。 貫通配管はコア抜き補修とする。 但し既存貫通穴を極力流用のこと。 コア抜きは、事前にX線探査を行なう事。	

撤去衛生器具リスト					
器 具 名	品番	2階	3階	数量	備 考
和風大便器(FV)	C-375VF	4	4	8	
小便器(FV)	U308C	5	5	10	
化粧鏡	TS119ASY5	6	6	12	
掃除用流し	SK22A	1	1	2	
化粧鏡	TS119AS3	6	6	12	
横水栓	T23B13	6	6	12	

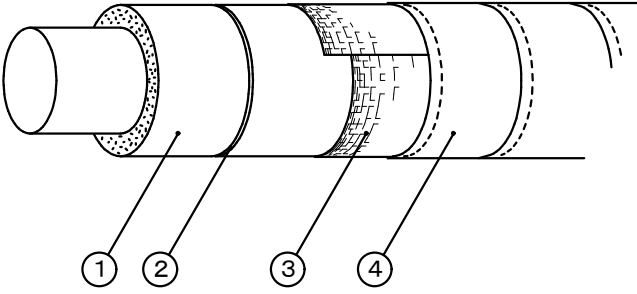
新設衛生器具表											
器 具 名	参 考 品 番	付 属 品、他 一 式 共				2階男子便所 3階女子便所	3階男子便所	3階女子便所	合計 数量	備 考	
パブリックコンパクト便器 (掃除口付)	CFS494CHNS	TV560CP(フラッシュバルブ:床)・TC300(普通便座)・YH701(棚付二連紙巻器)				1	3	1	3	8	
自動洗浄小便器 (自己発電・節水タイプ)	UFS900WR					5	5			10	
手すり	建築工事										
掃除用流し	SK22A	TK22(リムカバー)・T23AEQ20C(横水栓)・TN114(止水栓)・T9R(バックハンガー)・HH04060(樹脂ブラグ) T37SGEP(床排水金具)					1	1		2	
カウンター式洗面器	L350C	TLG04101J(立水栓)・T6PM1(排水金具)・TL4CFU(止水栓)				2	2	2	2	8	
マープライトカウンター	ML45 L=1、850	ブレーションシリーズ				1	1	1	1	4	
化粧鏡	YM3560A					2	2	2	2	8	
和風大便器	既設のまま					(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	

		工事番号・工事名		9相連教1624号		P-17519		図面の名称		作成年月日	
				相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第1期)				現況・改修1階平面詳細図		平成29年10月	
		株式会社 日匠設計		大坂本社 大坂府松原市阿保1丁目3番12号・級建築士 198531号澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二				図面番号	
								縮尺(A1)		縮尺(A3)	
								1:50		1:100	
										M-07	

保温施工標準図 No. 1

屋内露出
(一)一般居室・廊下

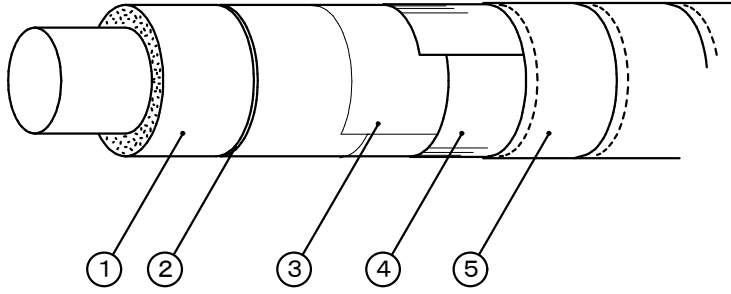
給水・排水（通気）空調ドレン管



	材 料 名	規 格	備 考
1	グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 以上
2	鉄 線	JIS G 3547	
3	合成樹脂製カパー		板厚 0.3mm 以上

天井内・PS内・書庫・倉庫（周囲の天井内を含む）

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水

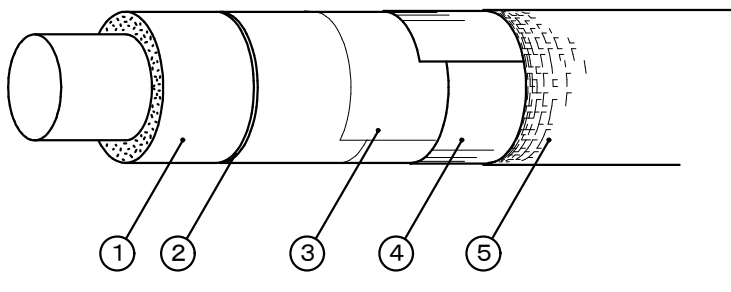


	材 料 名	規 格	備 考
1	グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 以上
2	鉄 線	JIS G 3547	
3	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4	合成樹脂製カパー		厚さ 0.3mm 以上

※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。

床下、暗渠内
(二)庇・土間内を含む

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水

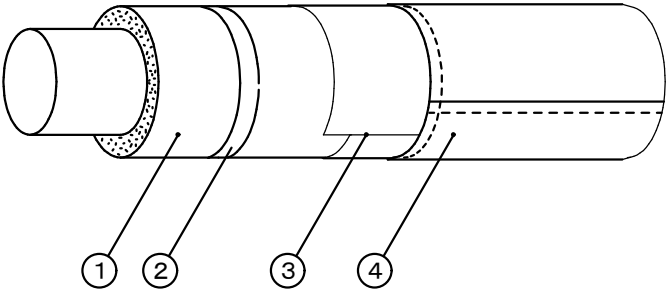


	材 料 名	規 格	備 考
1	グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 以上
2	鉄 線	JIS G 3547	
3	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4	原 紙		1㎡ 370g 以上
5	アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A	

※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。
※ 原紙＋アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる
※ 天井、PS内の場合は原紙を省略し、75kg/㎡アルミ化粧ガラス保温筒＋75kg/㎡アルミ粘着テープ（幅50mm）とする。

浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）

給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水



	材 料 名	規 格	備 考
1	グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 以上
2	鉄 線	JIS G 3547	
3	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4	ステンレス鋼板	JIS G 4305	

※ 厨房、浴室等の多湿箇所はステンレス鋼板とする。
※ 排水管、空調ドレン管で屋外露出及び耐火二層管は保温を行わない。

保温材の厚さ

単位：mm

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分
I	R	20			25			40			ロックウール				給水管
	G	20			25			40			グラスウール				排水管
	P	20			25			40			ポリスチレンフォーム				
II	R	20			25			40			ロックウール				温水管
	G	20			25			40			グラスウール				給湯管
III	R	25	30		40			ロックウール			蒸気管				
	G	25	30	40		グラスウール									
IV	R	30	40			50			ロックウール		冷温水管				
	G	30	40			50			グラスウール		冷水管				
	P	30	40			50			ポリスチレンフォーム		冷媒管				
V	25														機器、排気筒、煙道、内貼
VI	50														
VII	75														
VIII	50または25														ダクト

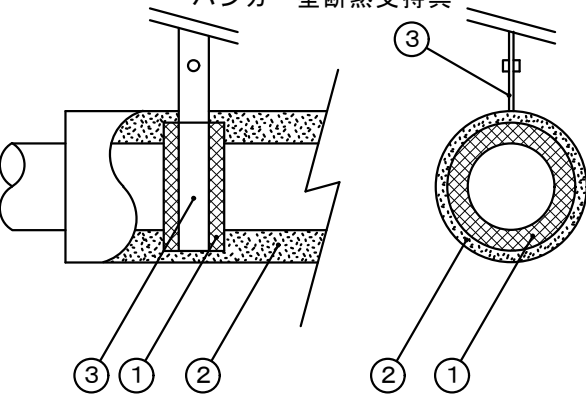
詳細は標準仕様書による。なお、高圧(0.1MP以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。

共通事項

- ポリスチレンフォーム保温筒は、1本(1m)につき2箇所以上粘着テープ2回巻きとする。
- テープ巻きその他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は15mm以上（ポリエチレンフィルムの場合は1/2重ね以上）、その他の場合は30mm以上とする。
- テープ巻きは、配管の下方より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれおそれのある場合には、粘着テープ等を用いてずれ止めを行う。
- 合成樹脂製カパーの取付は、直管の合わせ幅は25mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、150mm以下のピッチで、合成樹脂製カパー用ピンで押さえる。
- 屋内露出配管の保温見切り部分には菊座を取付ける。
- 保温筒取り付けの鉄線巻きは1本(1m)につき2箇所2回巻きとする。
- 鉄板巻きの継目部にはシールを行う。
- グラスウール保温筒、保温板の使用困難な場所は、保温帯または波形保温板を使用してもよい。
- ポリスチレンフォーム保温筒の使用困難な箇所は、ロックウール保温帯、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は波形保温板を使用してもよい。
- 屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ150mmまでステンレス鋼板で被覆する。
- 通気管の保温は排水分岐より100mmのみ保温を行う。

冷水・冷温水管の配管支持金具

ハンガー型断熱支持具



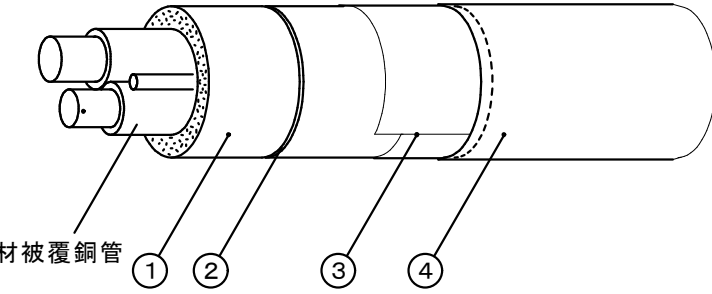
① 断熱支持具
② グラスウール保温筒
③ バンド

※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。
※ 台型の場合は腰高品（既製品＋10mm）を使用する。
※ ハンガー型は蝶番式又は提灯型を使用する。

断熱支持具の厚さ（T）と長さ（L）			
A	T	L	
15A～25A	20	50	
32A～150A	30	50	
200A	30	100	
250A～300A	40	100	

単位：mm

冷媒配管（全ての施工場所）



断熱材被覆鋼管 ① ② ③ ④

	材 料 名	規 格	備 考
1	グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 20mm厚
2	鉄 線	JIS G 3532	
3	ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm
4	外装材は冷温水に準じる		

※ ただし、天井内、PS内、空腔壁内、床下は上記に代えて断熱材被覆鋼管（保温厚20mm）とする。

防火区画貫通箇所施工要領

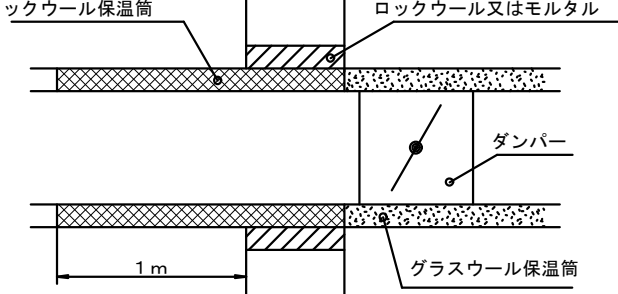
《 給排水管 》

- 鋼管の場合
※ 管径に関係なく通常の保温工事でよい。
※ 区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。
- VPの場合
【最上階4階まで 1時間耐火】
※ 125mm以上は鋼管または大臣認定の耐火二層管を使用する。
※ 100mmには0.5t垂鉛鉄板を前後1m巻くこと。
・保温は保温材がポリスチレンフォーム保温筒の場合はロックウール保温帯25tを鉄線にて取り付ける。
・区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。
・鉄板は区画貫通箇所を通して、前後1m管材の上に巻きその上に保温を行う。
※ 75mm以下は鉄板巻き不要である。
・保温材はポリスチレンフォーム保温筒でよい、ただし貫通箇所はロックウール保温材又はモルタル詰めを行う。

《 冷水、冷温水管 》

VP管75A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはいけない。

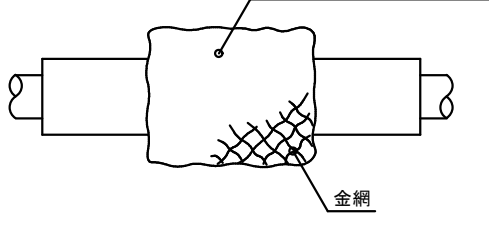
《 ダクト 》



ロックウール保温筒
ロックウール又はモルタル
ダンパー
グラスウール保温筒
1m

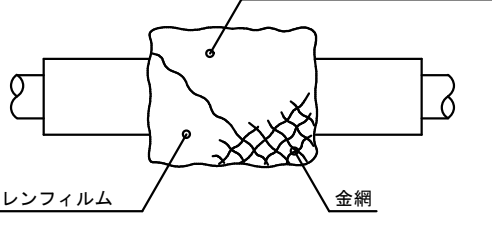
井フランジなどの保温

給水、給湯、温水、蒸気



アルミガラスクロス化粧グラスウール32K×25t
金網

冷水、冷温水

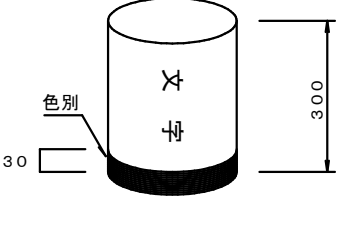


アルミガラスクロス化粧グラスウール32K×50t
ポリエチレンフィルム
金網

※ 給湯、温水、蒸気配管で室内及び暗渠内の伸縮継手、防震継手、フレキシブルジョイント弁及びフランジは保温を行わない。
※ 蒸気、温水配管で室内及び暗渠内の各種装置廻りの配管は保温を行わない、ただし火傷の可能性がある場合は火傷防止をおこなう。
※ 屋外は金網の下にポリエチレンフィルム を巻く。
※ 給水、給湯、冷水、冷温水用の露出配管で、保温を行う65A以上の井、ストレーナー等はビスなどにより容易に脱着できうる金属製カパーによる外装を施す。
（室内外共：カラー垂鉛鉄板またはステンレス鋼板）

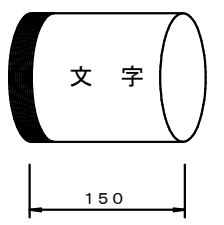
配管行先表示板

パイプシャフト表示板



色別 30 300

点検口表示板



150

室内、PS内、点検口部分の配管には配管表示板を取り付ける。
この表示板にはには、流体名称、矢印、色別バンド書き込む。

配管表示色

管 種	色	管 種	色
給 水 管	青	温 水 管	緑が色
湯 水 管	青	冷 温 水 管	濃青、緑が色
井 水 管	青	蒸 気 管	緑い色
雑排水管	茶	冷 却 水 管	淡水色
汚 水 管	茶	膨 張 管	緑が色 2本
通 気 管	茶の硬線	油 管	黄
消 火 管	赤	空 気 管	白
ガ ス 管	緑	給 湯 管	肌色
冷 水 管	濃青色	冷 媒 管	緑 2本

※ 表示板の材質は塩化ビニール樹脂製とする。
※ 屋内外露出の配管名表示部分には、縦書きの場合は下部、横書きの場合は左側に色別バンドを取り付ける。

※ 特記以外はこの施工標準図による。
※ 設計図書に明記の無い場合又は疑いが生じた場合は監督員と協議する。
※ 現場の取まり、取り合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督員と協議する。
※ 詳細は国土交通省機械設備工事標準仕様書及び同施工監理指針に基づく。